

イプソス グローバル インフレーションモニター

イプソス グローバルアドバイザーによる
33カ国調査

2023年11月

GAME CHANGERS



目次



[リンクをクリックすると調査結果にジャンプします。](#)

論点
Page 4



業界への影響
Page 10



**消費者の
認識と理解**
Page 13



シュリンクフレーション
Page 19



今後の予測
Page 28



**なぜ価格が
上昇しているのか?**
Page 46



調査手法
Page 57





はじめに

生活費危機に対する消費者の認識を追跡する33カ国の調査、イプソス グローバルインフレーションの第5ウェーブへようこそ。今回は、可処分所得と生活水準が今後1年間で上がると考える人の数が、下がると考える人の数を上回っています。このようなことは初めてです。また、2024年にインフレ率が上昇すると考える人の割合も、5ウェーブ全体で最も低い数値を記録しており、物価上昇の最悪期を「おそらく」脱したことを浮き彫りにしています。

人々の将来に対する見通しは改善しているかもしれませんが、現在の経済状況は2023年4月よりも良くなってはいません。23%が経済的に困難であると答えています。

今回新たに作成した質問群では、世間を賑わせている「シュリンクフレーション」を取り上げています。

2人に1人（46%）は、価格が変わらないのに商品が小さくなっていることに気づいたと答えています。48%がこのやり方は許容できないと答え、一方で22%が許容できると感じています。ブランドはこの問題に注意しなければなりません。なぜなら企業が過剰な利益を上げていることが、生活費危機の最大の原因のひとつだと多くの人が考えているからです。

何がインフレを引き起こしているかという点では、世界経済と金利が依然として最大の影響を及ぼしていると考えられています。しかし、移民や賃上げ要求も、その要因としてみなされ始めているようです。

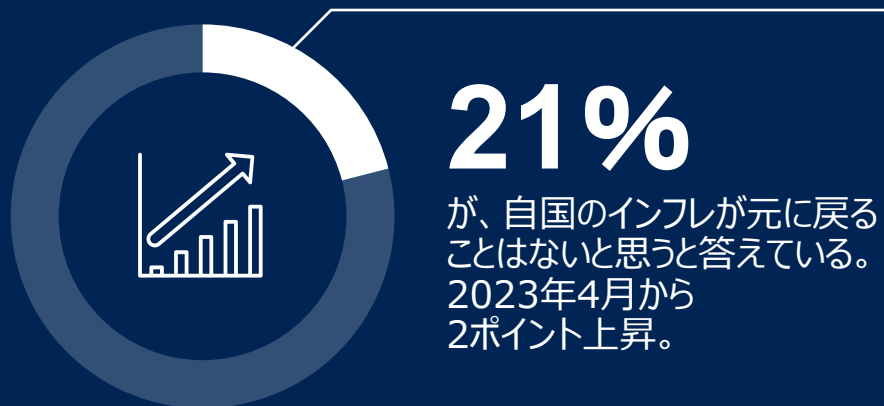
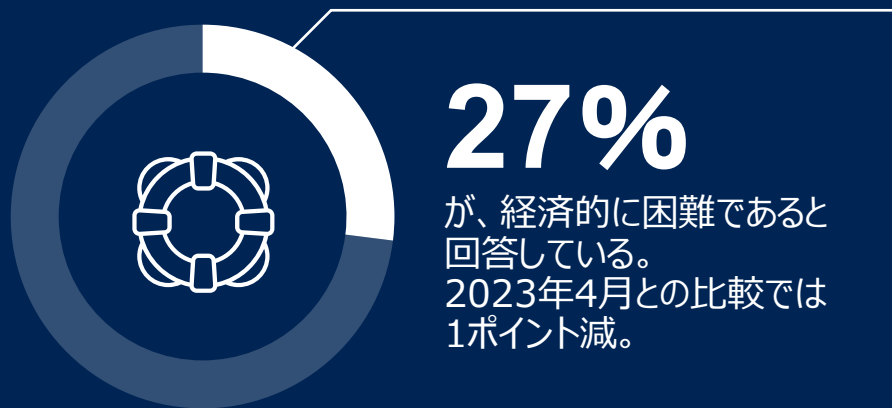
インフレに対する消費者の意識とイプソス グローバルインフレーションのバックナンバーの詳細については、以下をご覧ください。

<https://www.ipsos.com/en/inflation>

論点



まとめ



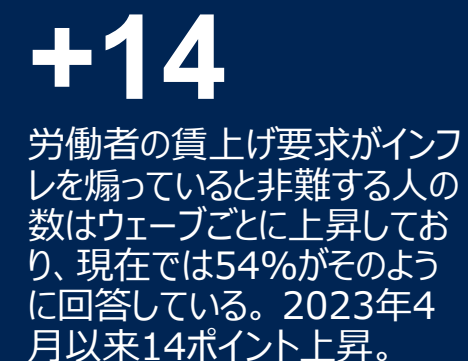
企業や小売業者が、価格を据え置いたまま商品のサイズを小さくする「シュリンクフレーション」として知られている対策は許容できない回答している。



今後1年間、自動車燃料の支出は上昇すると考えている。
2023年4月以来4ポイント上昇。

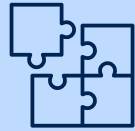


今後1年間で生活水準が上がると考えている。
イプソス グローバルインフレモニターを開始して以来の最高値。





人々の様子



困難を感じている

27%が経済的に困難だと感じている

ヨーロッパでは、経済的に苦しんでいる人の割合が減少しており、状況は改善しているようです。特にドイツとポーランドは、困難と感じる人が減少し（4月以降7ポイントと9ポイントの減少）、2022年4月と同水準となっています。

逆に、北米では苦戦している人が増えています。米国では、この数字は前回のウェーブから4ポイント上昇しており、カナダでは過去最高の28%に達しています。

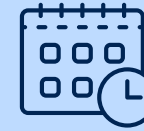


快適に暮らしている

5人に2人が「快適に暮らしている／うまくやっている」と回答

この数字（38%）は、2023年4月の前回のウェーブから1ポイント増加しています。中国では、75%が「快適に暮らしている／まあうまくやっている」と回答しており、これは調査対象33カ国で最高の数字です。

一方アルゼンチンでは、「快適に暮らしている／うまくやっている」と答えたのはわずか16%となっています。アルゼンチンは2023年4月にもこの質問で最下位でした。



インフレはいつ終わるのか？

5人に1人が自国のインフレは元に戻らないと考えている

この数字（21%）は2023年4月以降2ポイント増加しています。トルコでは2023年4月以来13ポイント増加し、インドでは8ポイント増加しています。インドと南アフリカは、自国のインフレが元に戻ることはないと思う人が最も多い（ともに37%）結果となっています。

33カ国の32%が、今後1年以内もしくはそれよりも早く通常の状態に戻ると考えており、43%は1年以上かかると考えています。



なぜ価格が上昇しているのか？

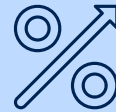


グローバルな問題

70%がインフレを世界経済のせいだと思っている

生活費の危機は常に世界的な問題として捉えられています。世界経済の状況が、 Ipsos グローバルインフレモニターの全5ウェーブを通じて、インフレの最大の原因とみなされています。

しかし、この数字は着実に減少しています。2022年4月、77%が世界経済が生活費危機の一因であると回答しましたが、5ウェーブを通して7ポイント低下しています。



金利

68%が金利がインフレを煽っていると回答

33カ国で生活費危機の第二の要因となっています。

国レベルで見ると、多くの国で金利を原因と考える人が減少しています。しかし、2023年4月以降、英国とインドネシアではわずかながら増加しています（ともに+3ポイント）。

カナダとスペインのみ、5ウェーブを通して金利を挙げる割合が上昇しています。



高まる不安

移民と賃上げが原因との見方が強まる

31カ国で54%が、生活費危機の要因として移民受け入れと労働者の賃上げ要求の両方を挙げています。

労働者の賃上げ要求を要因として選択する人は、2022年4月以降14ポイント増加しています。一方、同じ期間に、移民受け入れを回答した人は6%増加しています。

新型コロナウイルスのパンデミック、ロシアのウクライナ侵攻とその帰結は、それほど大きな要因ではないと見られています。



シュリンクフレーション



気づいたか？

ほぼ2人に1人が「シュリンクフレーション」に気づいたと回答

33カ国で46%の消費者が、商品のサイズは小さくなったが価格は変わらないことに気づいたと答えています。

これはヨーロッパで最も多く見られ、これに気づいている人の割合が最も高いのは英国（64%）という結果になっています。

最も気づいていないのは、ラテンアメリカとアジアです。シュリンクフレーションを実際に見たことがあるのは、コロンビアでは28%、インドと中国では30%に過ぎません。



許容できる？

48%がこのようなやり方は許容できないと回答

33カ国で「許容できる」よりも「許容できない」と答える方が多い結果となっています。しかし、アジアとそれ以外の地域では、それを是とするか非とするかには大きな差があります。

アジアは、「許容できない」とする割合が最も低いです。

最も反対しているのはフランスとトルコで、それぞれ67%と66%が企業や小売業者がこのようなことをするのは許容できないと答えています。



最も目立つ商品

ポテトチップスとチョコレートが最も悪いと見られている

シュリンクフレーションに気づいたことがある人のうち、チップスなどのスナック菓子が、最も高く回答されており、45%が気づいたと答えています。

次いで、チョコレートやお菓子類で、44%が、値段は変わらないが、商品が小さくなっているのを見たと答えています。

3人に1人以上（35%）が、パンのサイズが小さくなっていることに気づいています。



将来への期待



ピークを過ぎた？

来年もインフレが続く考える人は少ない

自国のインフレ率が今後1年間で上昇すると考えているのは62%で、これは過去最低の数字です。これは、人々が生活費危機の最悪期が終わったと感じていることを示しているのかもしれませんが、イプソスの調査『世界が懸念していること』でも見られ始めていることと一致します。

金利上昇が続くと予想する人は少なくなっていますが、失業率上昇への懸念は依然として高いです。59%が雇用が減ると予想しており、5ウェーブすべてに参加している英国は過去最も高い数字を記録しています。



使えるお金が増える

可処分所得が増えると思う人が増加

消費者は、可処分所得や生活水準が今後1年間で下がると思うよりも上がると思う傾向が強い結果となっています。これはイプソス グローバルインフレモニターで初めての結果です。

31%が可処分所得は今後12ヶ月で増加すると考えており、29%が減少すると思っています。この傾向はアジアとラテンアメリカで最も高いですが、ヨーロッパでは2024年に何が待ち受けているのかやや心配をしています。



もっとお金がかかる外出

2024年、人付き合いと車の運転はもっと高くと考える人が増加

ガソリンなど自動車燃料への支出が上がると考える人が増えています。食料品への支出や光熱費が上がると考える人は少ないが、車の運転にかかる支出が2023年4月よりも高くなると考える人は増えています。

これは外出やNetflixなどのサブスクリプションでも同様です。4月の44%から上昇し、48%が、サブスクリプション費用が増えると考えています。一方、54%から増加し、56%が、来年末外食や映画館に行く支出が高くなると考えています。

業界への影響

ブランドにとっての意味



各業界にとって何を意味するのか



消費財

食料品や日用品への支出の増加を予想する人の数は、この調査を始めて以来最低となっています。しかし、コスト上昇の中で利益を維持するためのやり方には、ブランドにとっての風評リスクがあります。33カ国でほぼ2人に1人（46%）が、ブランドが商品のサイズを小さくして価格を据え置くことは許容できないと答えています。ヨーロッパと北米では、この傾向がより高いです。最も気づかれているのは、スナック類とチョコレート菓子です。62%が、企業が過剰な利益を上げていることが生活費危機を引き起こしていると考えていますので、ブランドは儲け主義だと思われまいように注意しなければなりません。



飲食・娯楽

食料品の支出額の上昇を予想する人は少ないが、2023年4月と比べると、来年は外出や交際にお金がかかると感じる消費者が増えています。トルコ、カナダ、南アフリカ、メキシコでは、レストランやバー、映画館に出かける費用が上がると考える人が目立って増えています。

交際費が増加することが予想される中、経験の重要性は増えています。



小売

来年には可処分所得が増えると予想する消費者が増えています。この傾向は、アジアやラテンアメリカの国々で見られ、2024年には使えるお金が増えると考えられています。世界33カ国で3分の2以上が、今後1年間に食料品やその他日用品の買い物の支払いが増えると考えていますが、物価上昇への懸念は、イプソス グローバルインフレーションモニターの全5ウェーブを通じて最も低い結果となっています。スーパーマーケットでは、商品のサイズが小さくなっていることに気づいており、ヨーロッパや北米の多くの人々はこれを受け入れがたいと感じています。これは多くの消費者にとって感情的な問題であるため、小売業者はこの問題でどちらの味方をするかを決める必要があるかもしれません。国によっては、[小売業者がすでにメーカーを非難しています](#)。

各業界にとって何を意味するのか



金融サービス

金利は生活費危機の主要な要因であり、世界経済が物価上昇の最も大きな要因であると認識されています。しかし、自国の金利が上昇すると考える人は減少しており、住宅ローンや家賃の支払いが増えると考え人は、イプソス グローバルインフレーションモニターの全5ウェーブを通じてほとんど変わっていません。固定金利の住宅ローンが普及している国々では、金利がさらに下がることを期待して、今契約をすることは少ないかもしれません。来年は使えるお金が増えると予想する人が増えています。可処分所得は少し増えても、経済的な不安は残っており、雨の日に備えて貯蓄を増やすようにするかもしれません。



公共事業

33カ国の68%が、今後6カ月間に光熱費が上昇すると予想しています。これは今年4月と変わらないが、2022年のこの時期から9ポイント減少しています。

しかし、これから冬を迎える多くの国々では、4月に比べてエネルギー料金の支払いが増えると予想する人の数が増加しています。イタリア、オランダ、ベルギー、スペインはすべて、前回のウェーブから顕著な増加を示しています。



メディア・エンターテインメント

33カ国の44%が、今後1年間はサブスクの支払いが増えると予想しています。これは4月以来4ポイントの増加であり、本調査の5ウェーブを通じて最も高い数字です。英国、ハンガリー、インド、カナダ、ドイツでは、サブスク料支払いの増加を予想する人が二桁増となっています。

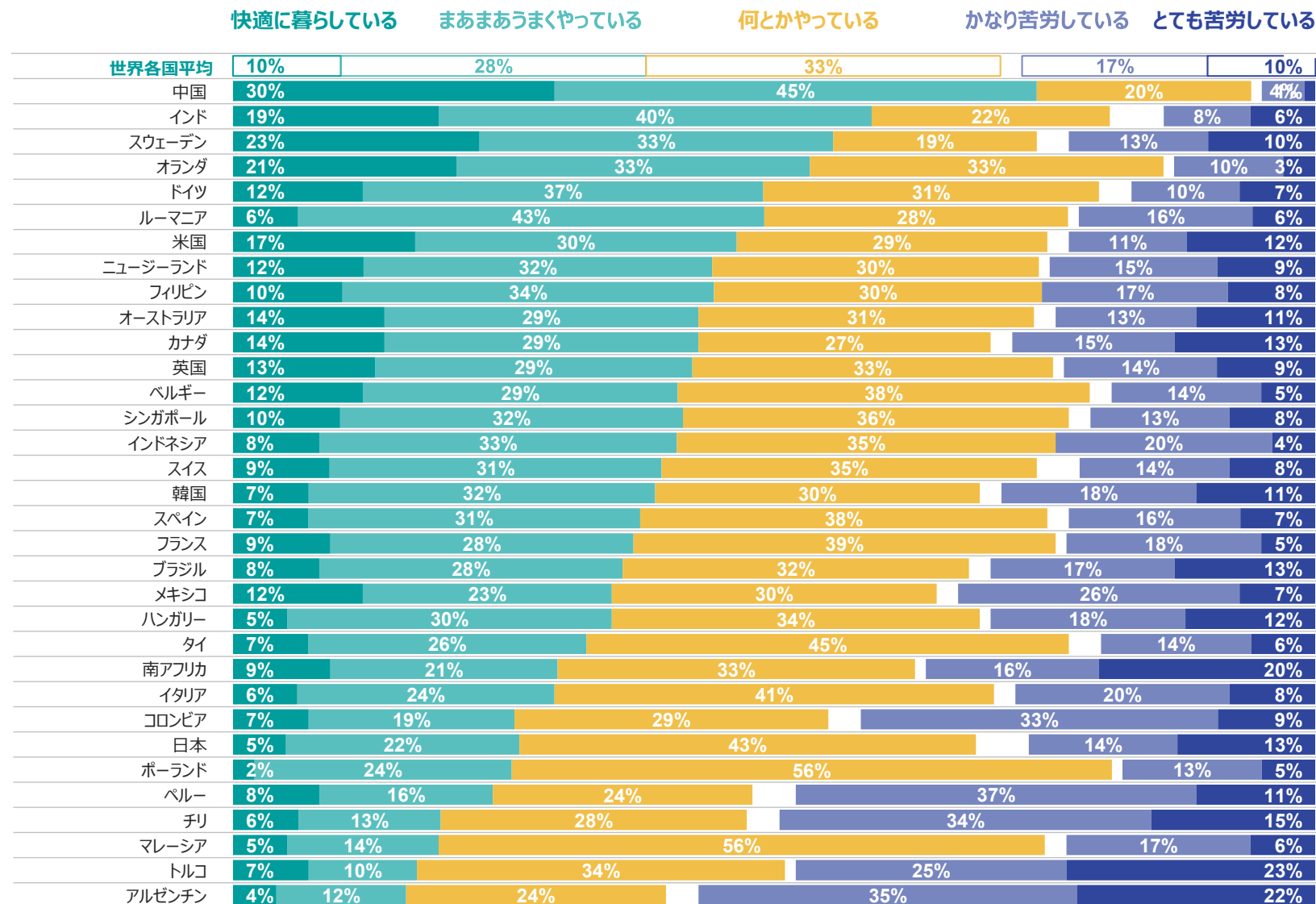
世界中の多くの市場でストリーミングの加入者数が減少しているため、来年は金額に見合った価値を提供することがより重要になるでしょう。

消費者の認識と理解



Q

最近、金銭的にどの程度うまく管理できていると思いますか？
あなたは以下のどれに当てはまりますか？



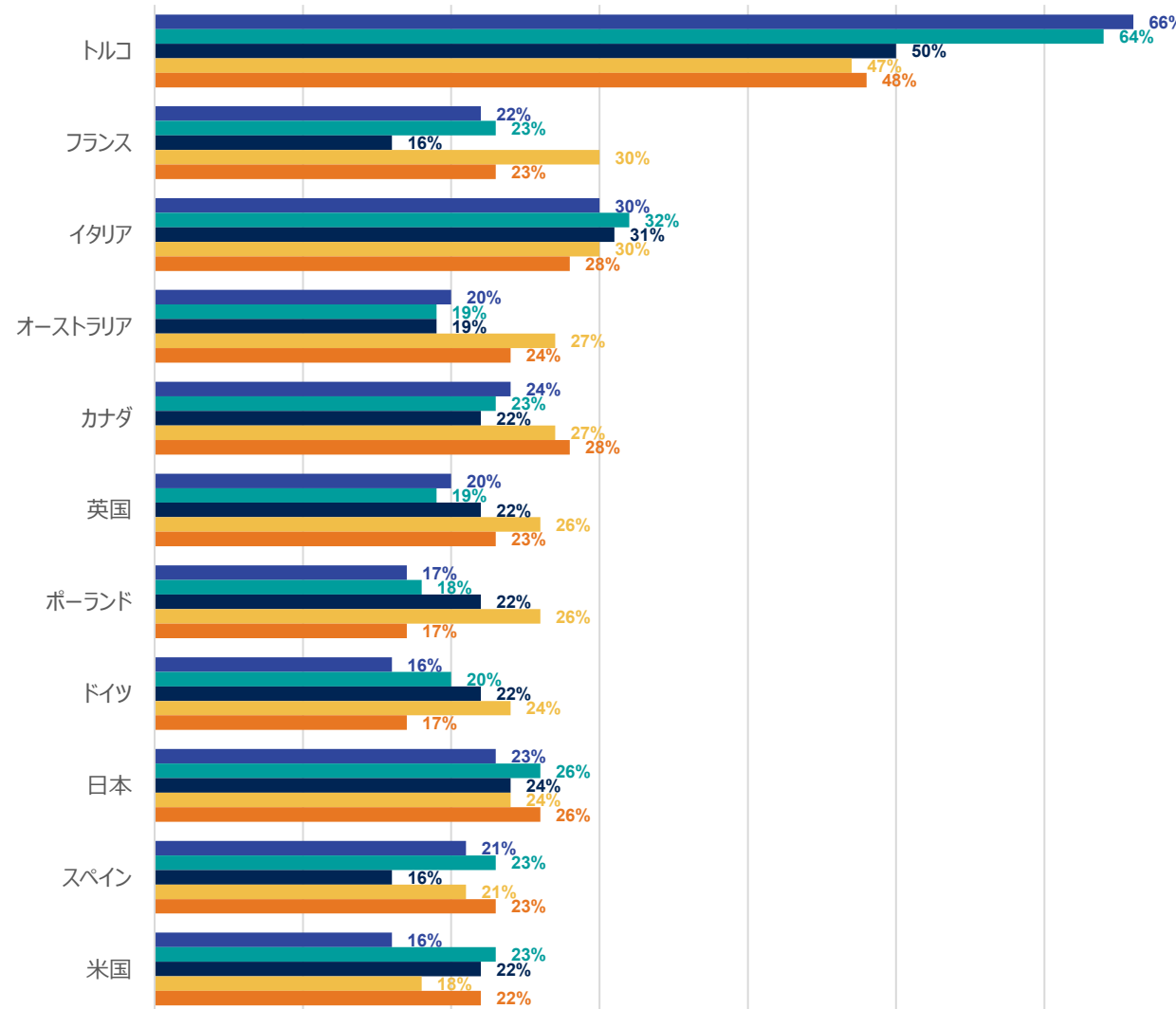
ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されており、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



Q

最近、金銭的にどの程度うまく
管理できていると思いますか？
あなたは以下のどれに当てはま
りますか？

かなり苦労している／
とても苦労している(%)

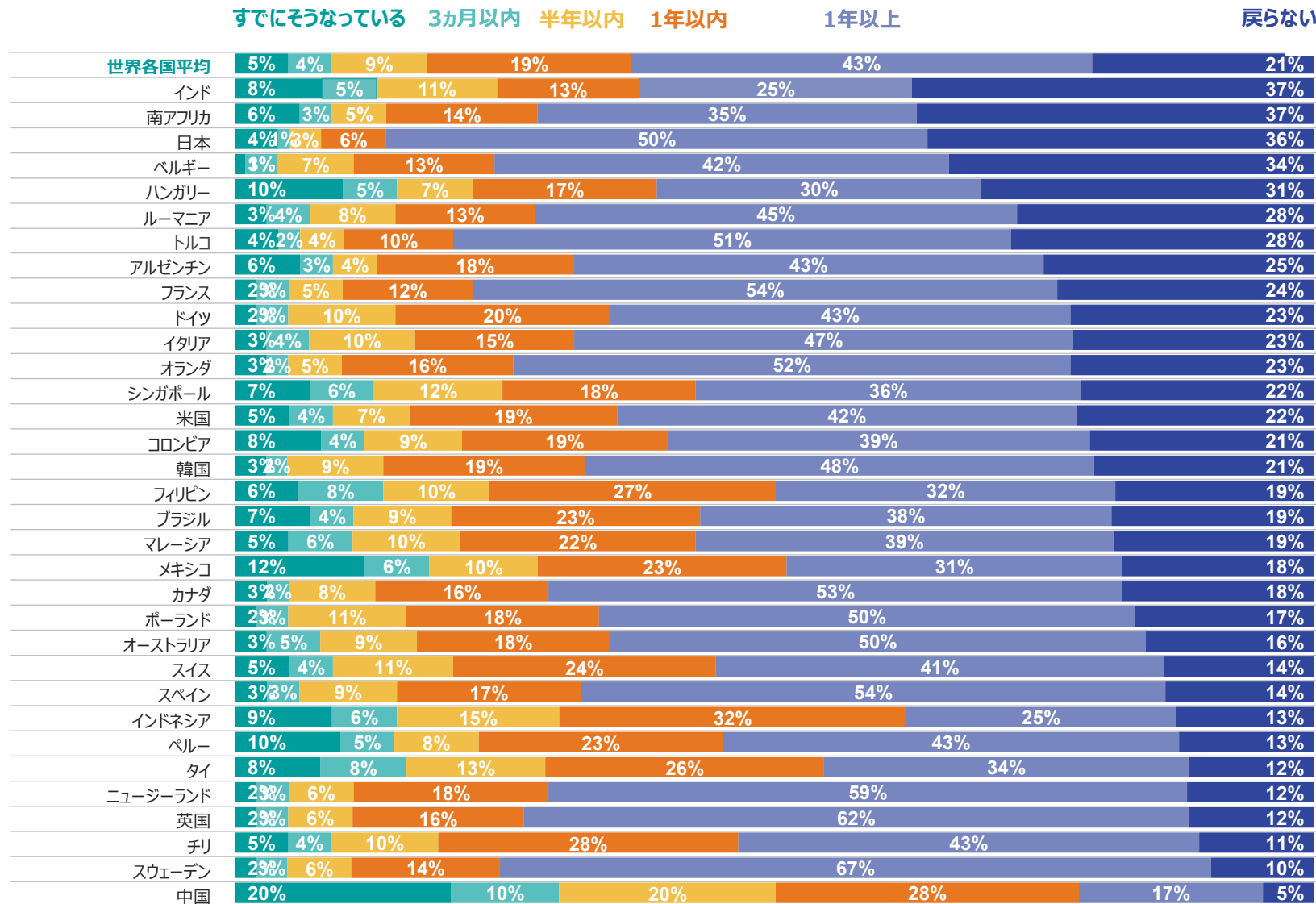


2022年4月
2022年6月
2022年11月
2023年4月
2023年11月

ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

Q

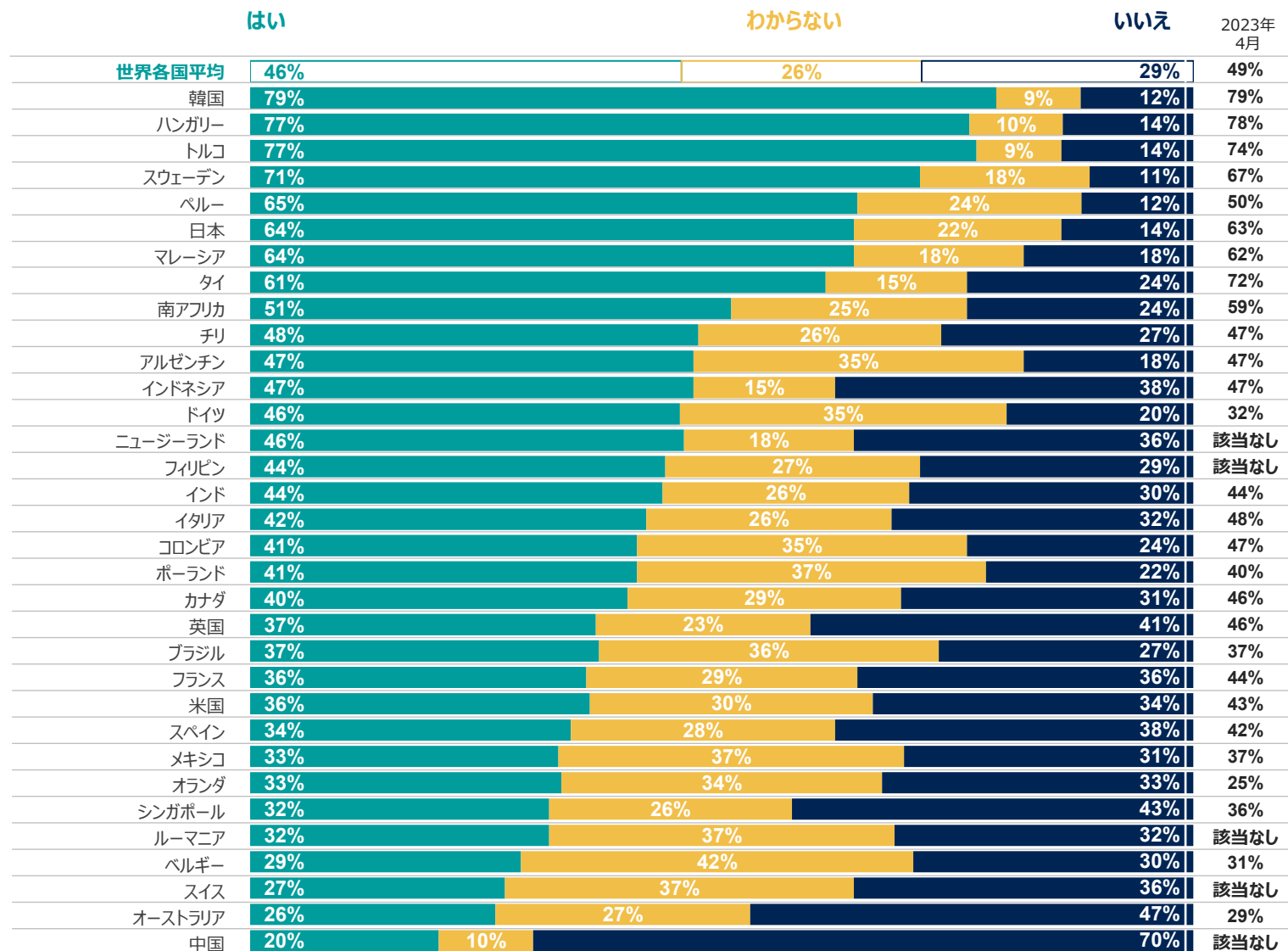
自国のインフレが落ち着き、通常に戻るまでに、どのくらい時間がかかりますか？



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されており、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

Q

ご存じのかぎりにおいて、現在、
自国の経済は不況に陥っていますか？



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

Q

最近、世界各国でインフレ率が低下していることについては、ご存知のことと思います。

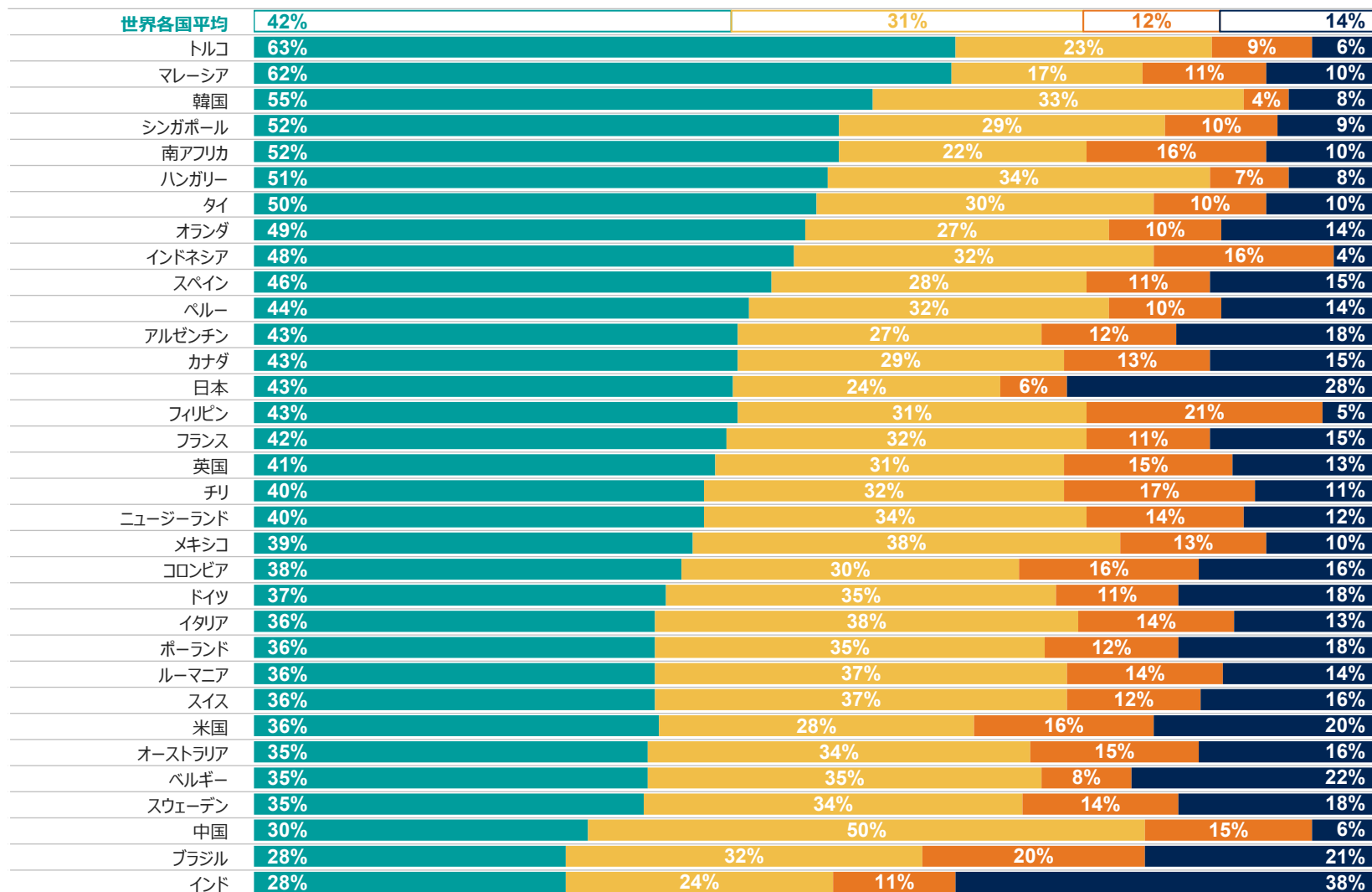
あなたの国で来年、インフレ率が半減するもののゼロを超えていると仮定した場合、次のうち、来年の今頃の商品およびサービスの一般的なコストについて、当てはまるものはどれですか？

現在よりもコストが上がる

現在とほぼ同じコストがかかる

現在よりもコストが下がる

わからない



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

シュリンクフレーション





消費者の態度と理解

シュリンクフレーションは今年のヘッドラインを独占し、その論争によって多くのブランドが名指しで非難されました。シュリンクフレーションとは、商品のサイズが小さくなる一方で価格は変わらないという対策です。

これは消費者の間で論争を巻き起こし、生活費の危機に関しては、私たち全員の意見が一致しないかもしれないことを浮き彫りにしました。欧州委員会はこれを“[欺瞞的なマーケティング手法](#)”とまで呼び、フランス政府は、サイズが縮小された場合には消費者に通知することを保証する[法律を導入すると発表](#)しました。

シュリンクフレーションを見ると、33カ国の消費者の46%がそれに気づいたと回答しています。これは英語圏や西ヨーロッパで高く、スーパーマーケットでこれを目にする機会が多いようです。

シュリンクフレーションのニュース

What is shrinkflation and is it costing me money in my weekly shopping?

France's Carrefour puts up 'shrinkflation' warning signs

Less is more: Why shrinkflation is sparking anger among French shoppers

The curse of shrinkflation: how food is being sneakily downsized - but prices aren't

Feel like you're paying more for less? These are the latest items to be hit by 'shrinkflation'

Smaller boxes in the cereal aisle? Say hello to shrinkflation.

BuzzFeed

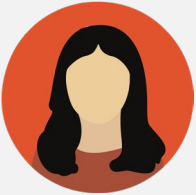
"Shrinkflation" Has Gone Too Far — Here Are 19 Items That Are No Longer A Bang For Your Buck



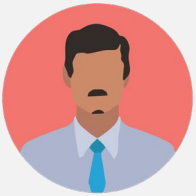
消費者の声は？



「初めはトイレットペーパーが明らかにどんどん小さくなっていることに気づいた。しかし今では、より多くの企業が目立たないようにそれを行っている。価格だけでなく、重量も重要だ」。



「シュリンクフレーションは、もはや加工食品や包装食品に限ったことではない！生鮮品さえも圧迫を感じている。果物や野菜を入れる小さな容器は、新しい常識になりつつある」。



「同じ値段で少なく売る。価格上昇のシールのショックは避けて、その代わりに買える商品を少なくする。事実上すべての商品で起きていることだ。ドリンクが小さくなったり、シリアルバーが軽くなったり.....
r/shrinkflationというサイトにそういうのがたくさん書かれている。」

買い物客がシュリンクフレーションに最も反対しているフランスとトルコでは3分の2が、ブランドや小売業者がこのようなことをするのは許容できないと考えています。これは世界的にも同様で、2人に1人（48%）がそう答えています。

しかし、この数字は国による大きな違いを覆い隠しており、アジアの消費者の態度はまったく異なります。シュリンクフレーションをスーパーマーケットで見たことがある人は最も少なく、この地域のいくつかの国では、シュリンクフレーションを許容できない人よりも許容できると答える人の方が多い結果となっています。

ひとつはっきりしているのは、ブランドが儲け主義と非難されるのを避けたいのであれば、企業は生活費の危機の時代には慎重に走っていかなければならないということです。企業が過剰な利益を上げることが、物価上昇の最大の要因のひとつであると消費者は見ています。ソーシャルメディア（左記参照）での発言からわかるように、これは非常に感情的な問題であり、長期的なブランドの健全性に影響を及ぼす可能性があります。

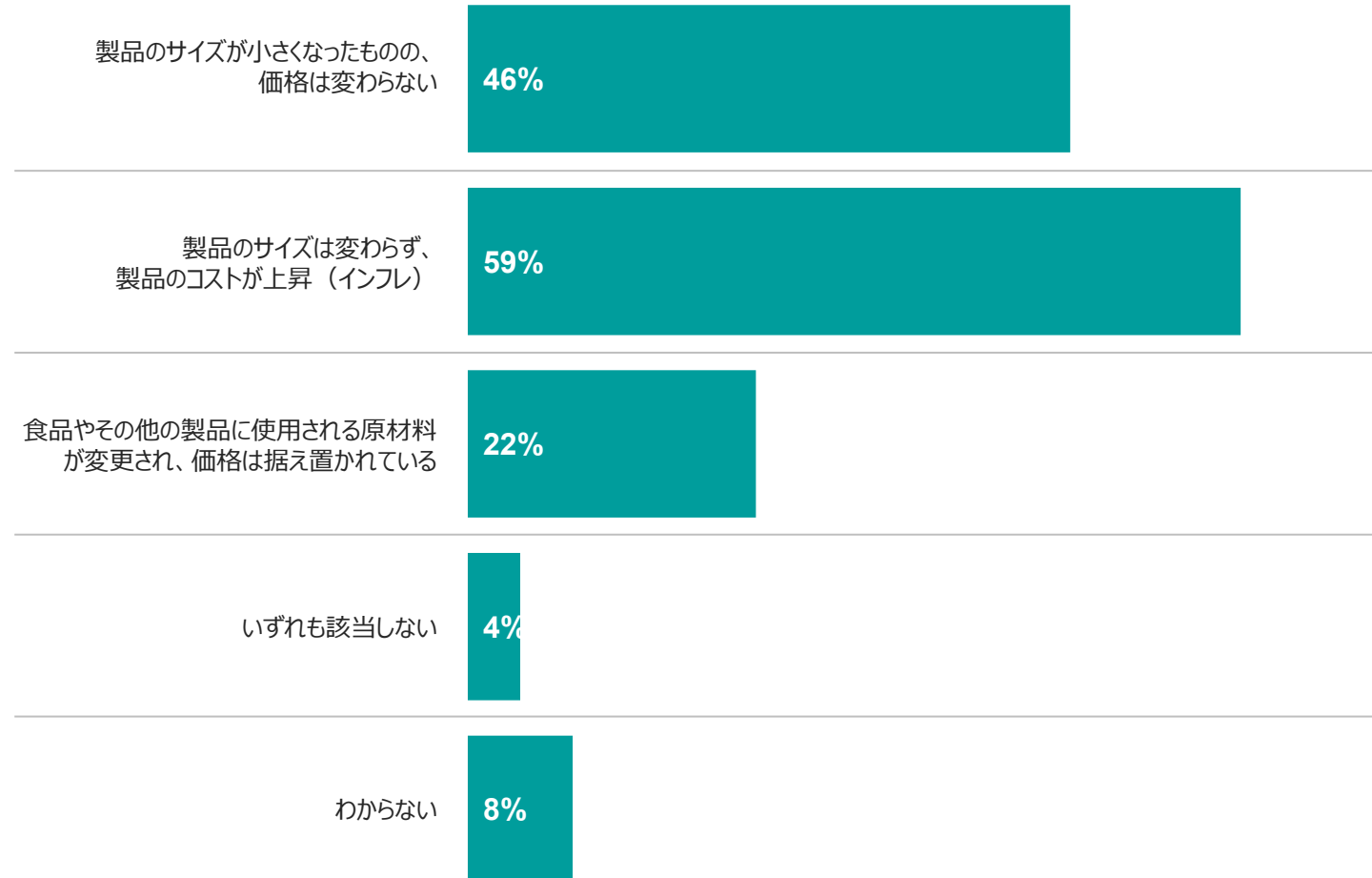


Q

過去6か月の間に、あなたの国で食品やその他の製品を購入した際、気づいたことがあるとすれば、それは次のうちどれですか？

世界各国平均

気づいた(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

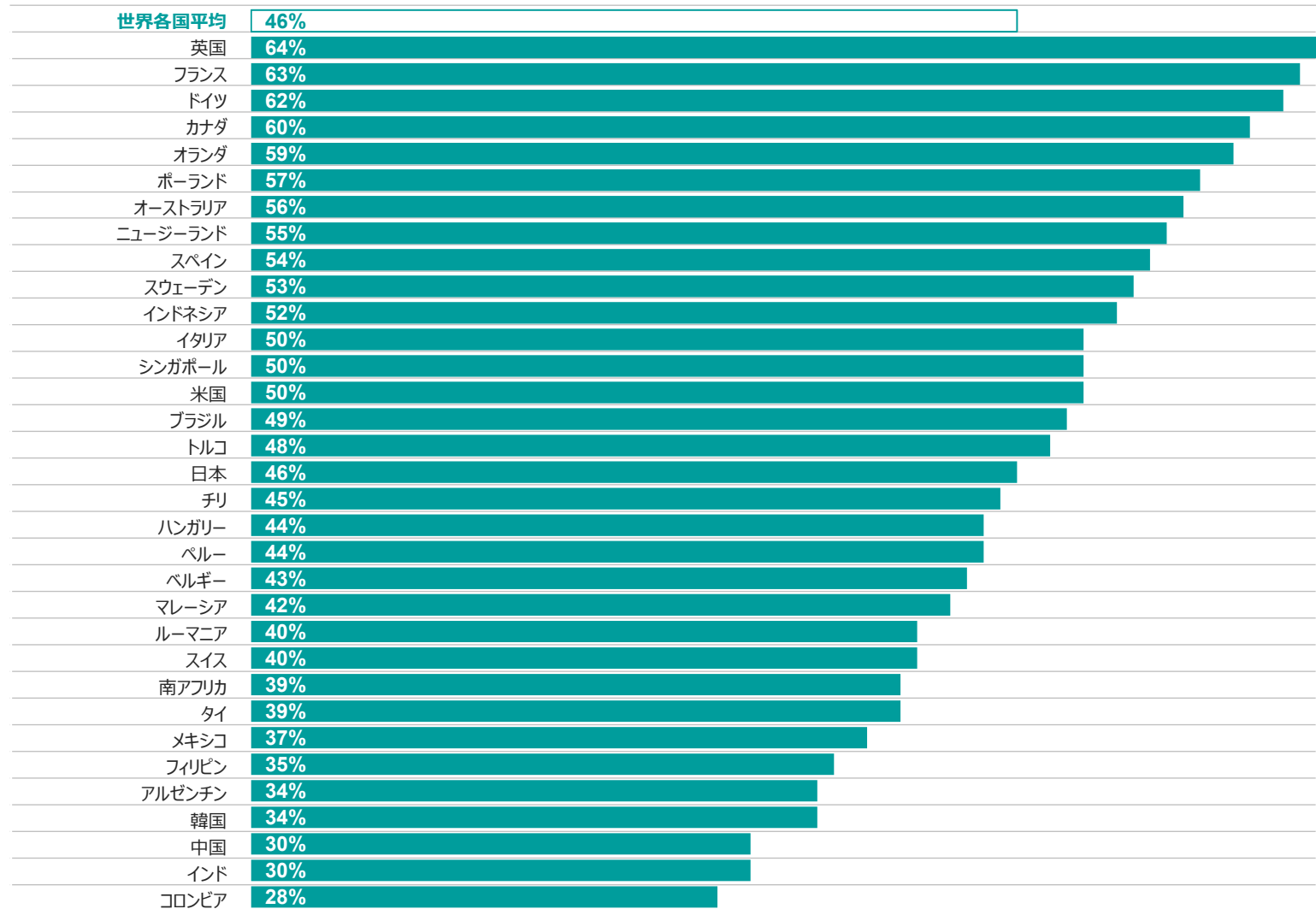


Q

過去6か月の間に、あなたの国で食品やその他の製品を購入した際、気づいたことがあるとすれば、それは次のうちどれですか？

製品のサイズが小さくなったものの、価格は変わらない

気づいた(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ベルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

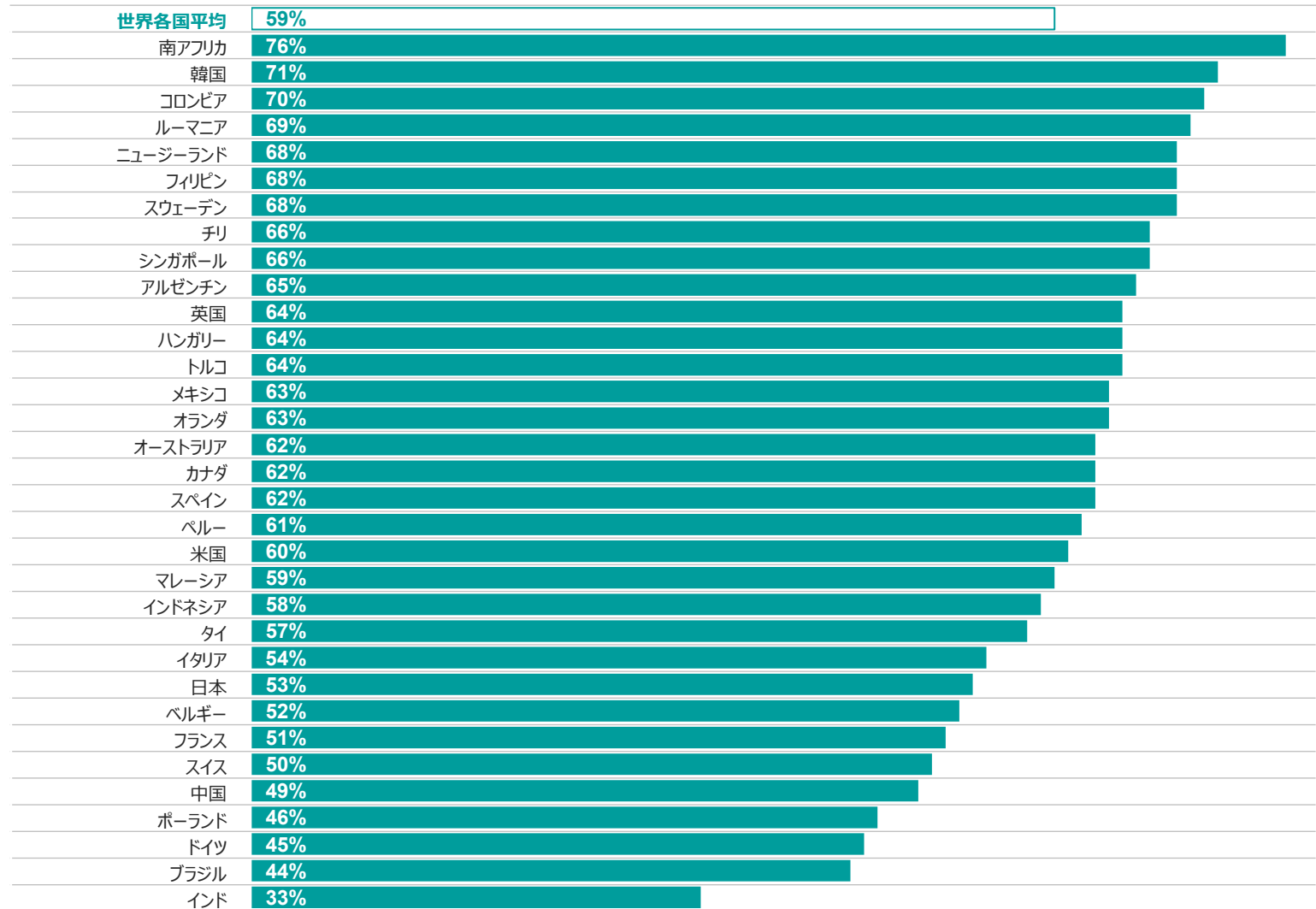


Q

過去6か月の間に、あなたの国で食品やその他の製品を購入した際、気づいたことがあるとすれば、それは次のうちどれですか？

製品のサイズは変わらず、
製品のコストが上昇（インフレ）

気づいた(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

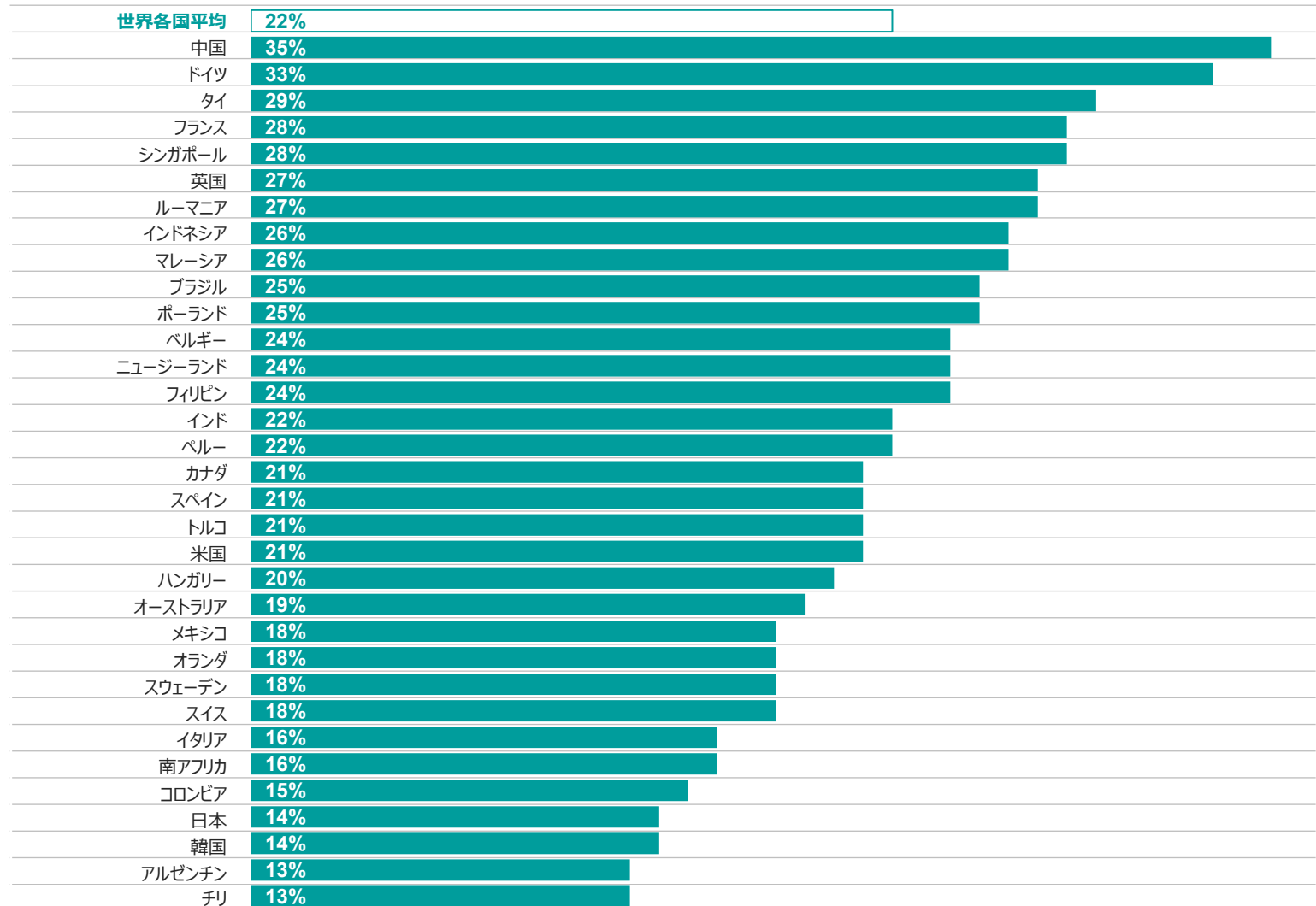


Q

過去6か月の間に、あなたの国で食品やその他の製品を購入した際、気づいたことがあるとすれば、それは次のうちどれですか？

食品やその他の製品に使用される原材料が変更され、価格は据え置かれている

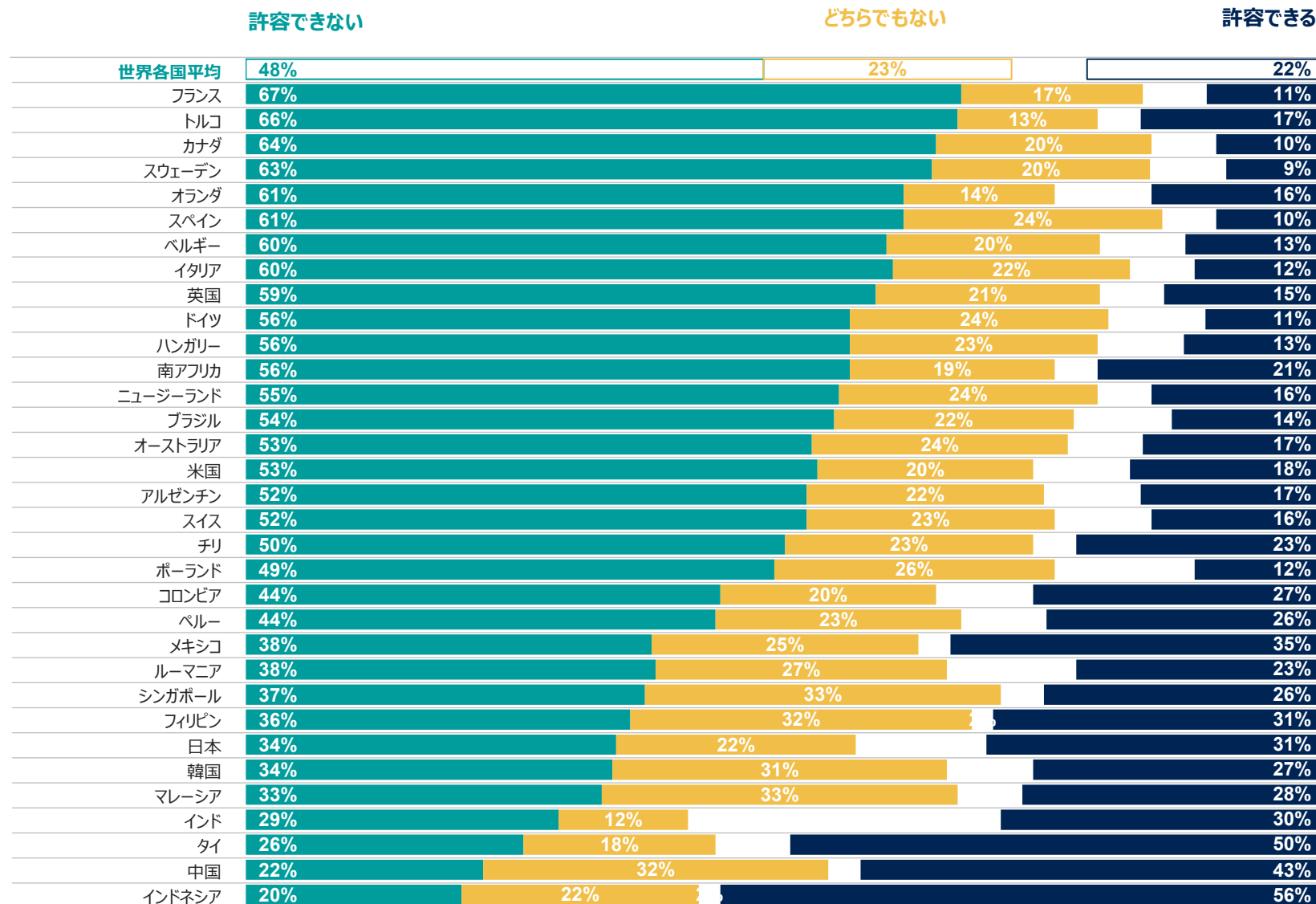
気づいた(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

Q

また、コストの上昇への対応策として、企業や小売業者が、価格は同様に維持しつつ製品のサイズを縮小することについて、どの程度許容できますか？



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

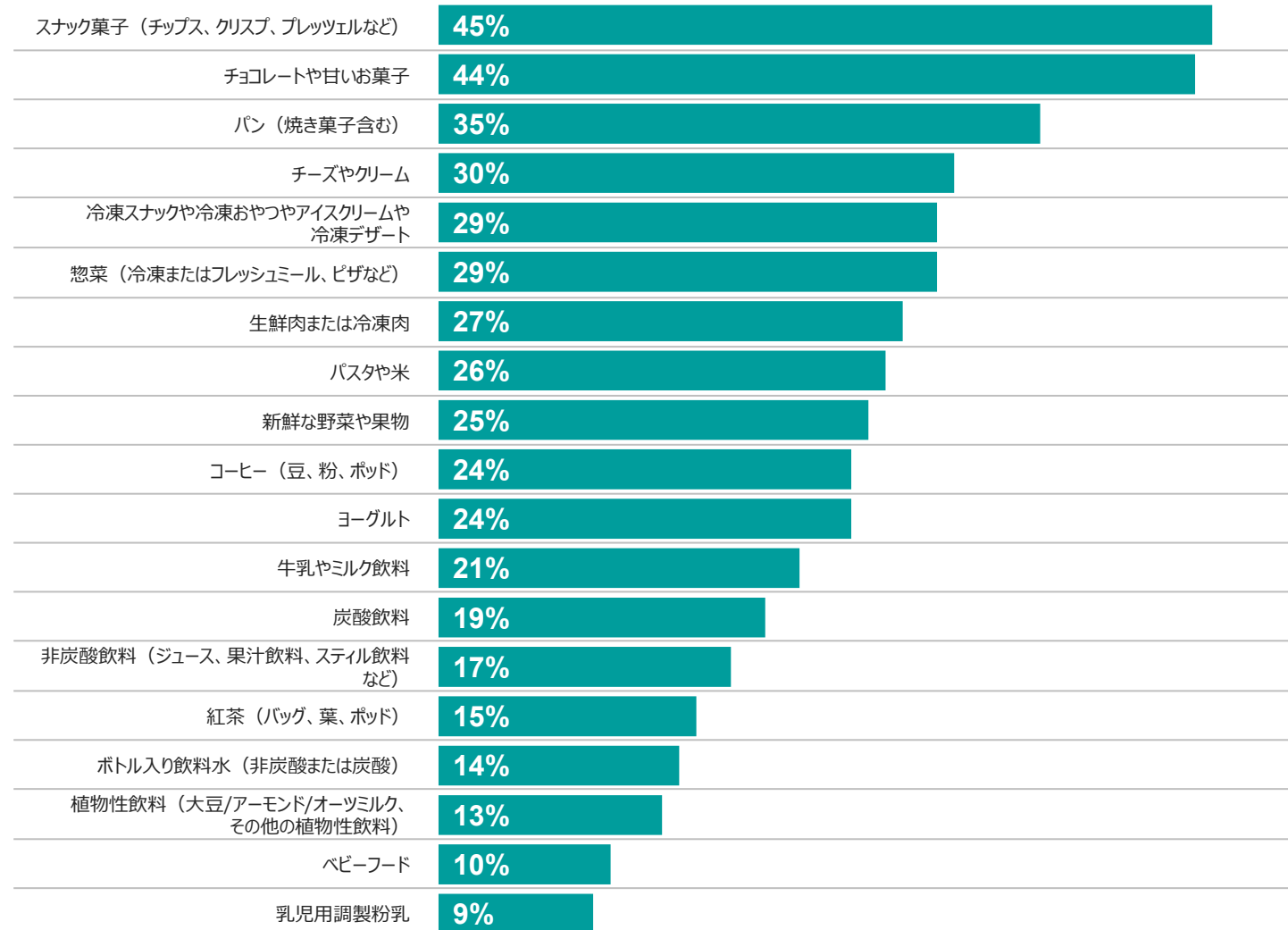


Q

次のタイプの食品や製品のうち、パッケージのサイズが小型化されたものの、価格はそのままであることにお気づきのものはどれですか？該当するものをすべて選択してください。

世界各国平均

製品サイズが小さくなくても価格は変わらないことに気づいた人のうち



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されており、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

今後の予測

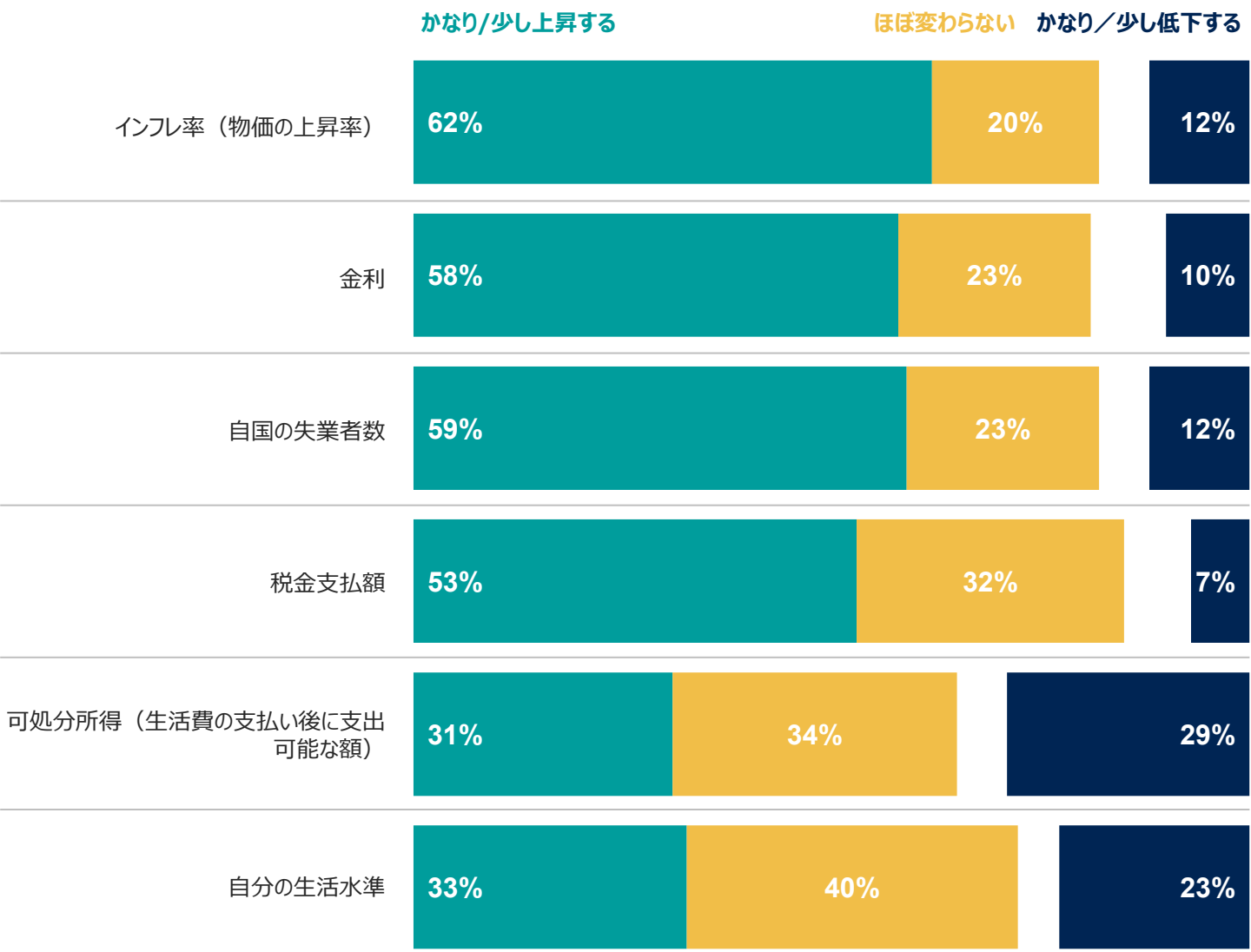




Q

来年中、以下の各項目は上昇する、低下する、またはほぼ変わらないのいずれだと思いますか？

世界各国平均(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。





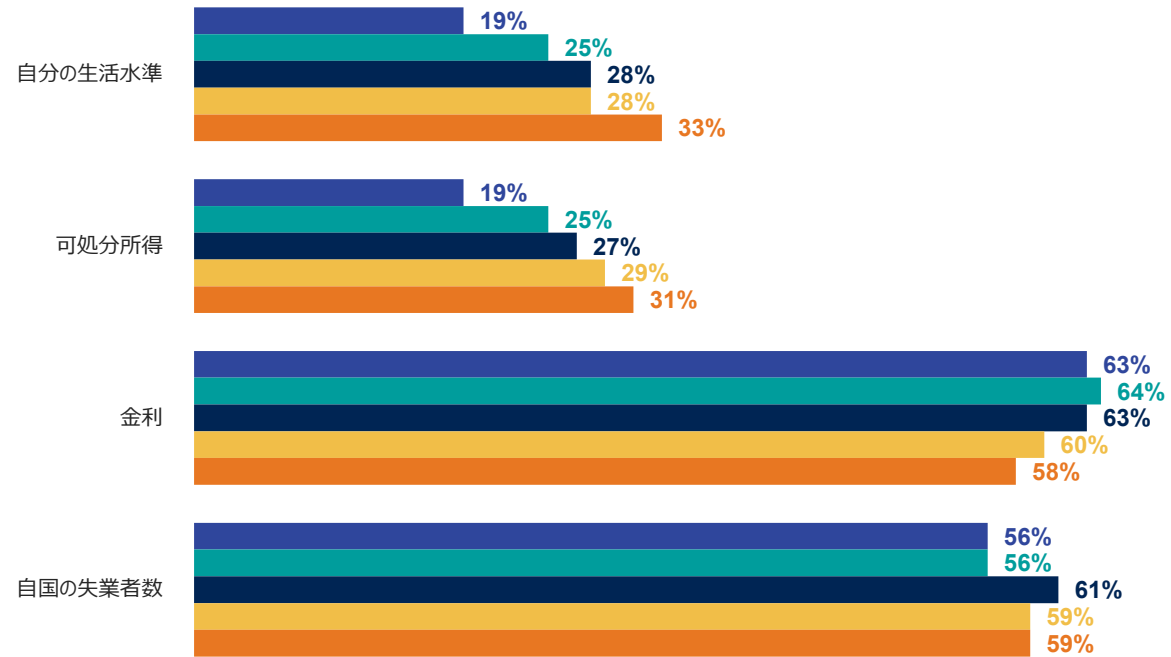
Q

来年中、以下の各項目は上昇する、低下する、またはほぼ変わらないのいずれだと思いますか？

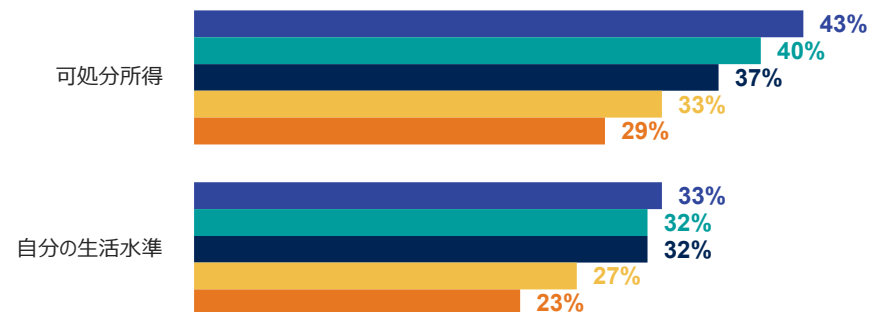
世界各国平均(%)

2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

かなり/少し
上昇する



かなり/少し
低下する



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



Q

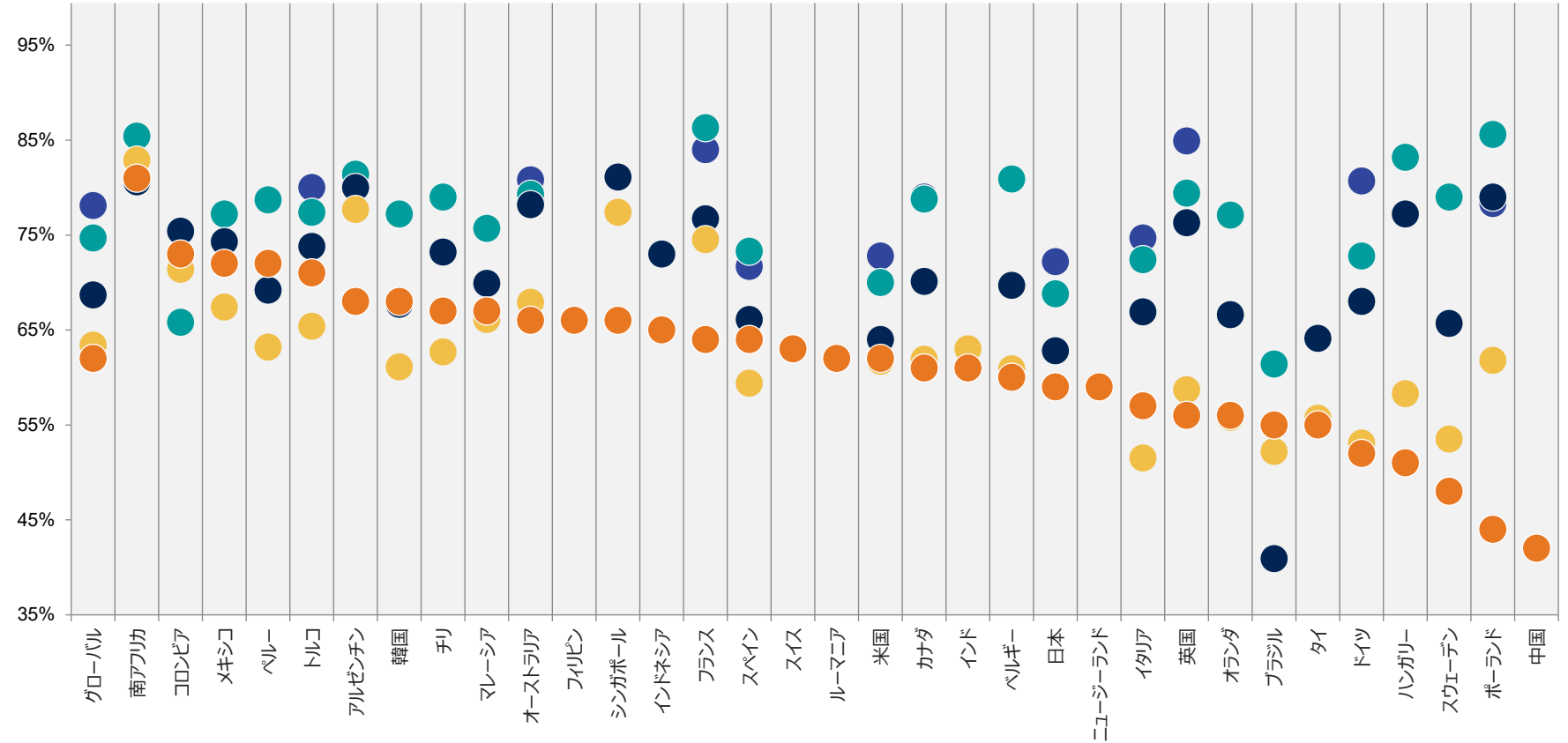
来年中、以下の各項目は上昇する、低下する、またはほぼ変わらないのいずれだと思いますか？

インフレ率（物価の上昇率）

かなり/少し上昇する

2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

62% 81% 73% 72% 72% 71% 68% 68% 67% 67% 66% 66% 66% 65% 64% 64% 63% 62% 62% 61% 61% 60% 59% 59% 57% 56% 56% 55% 55% 52% 51% 48% 44% 42%



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



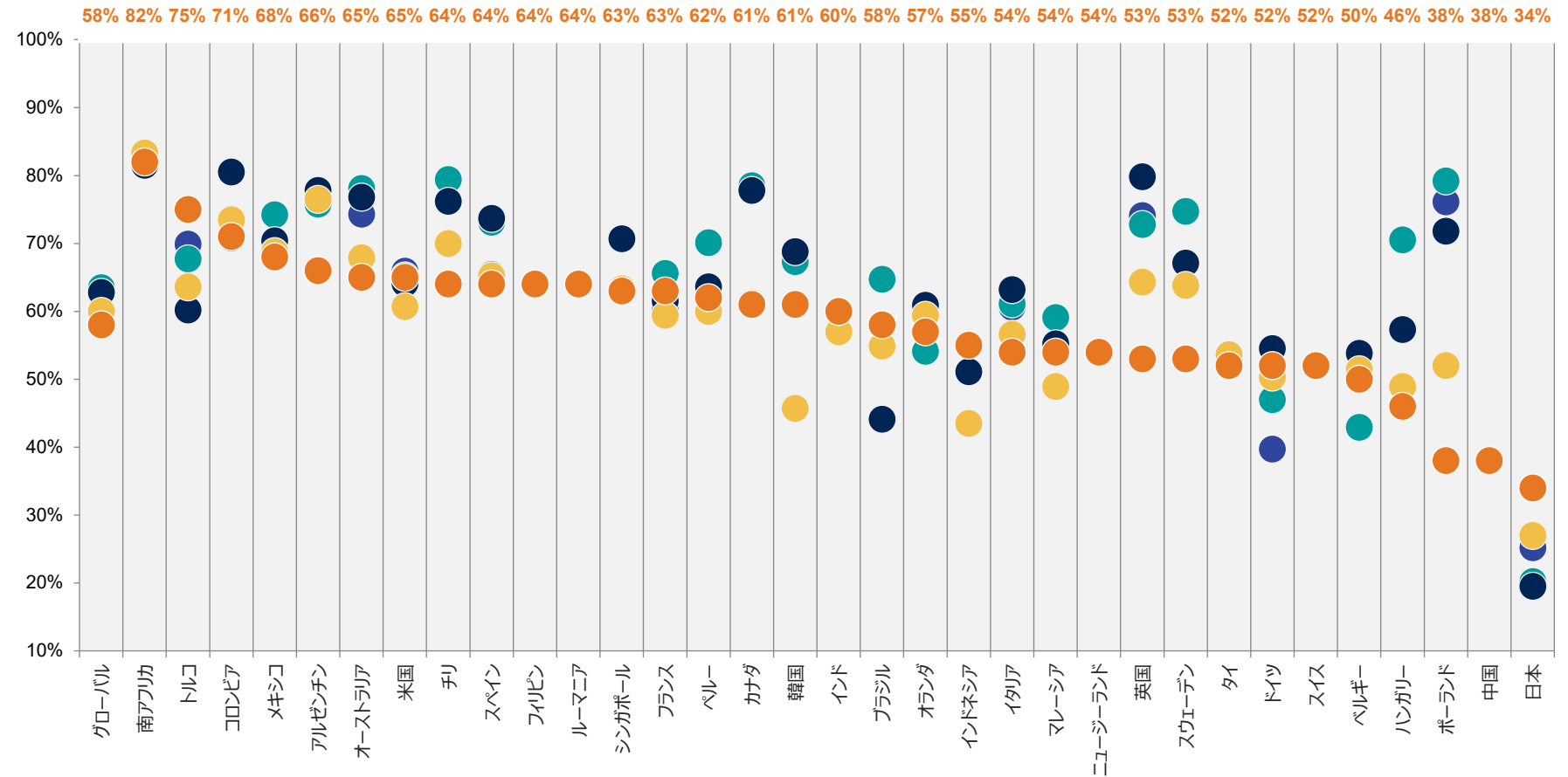
Q

来年中、以下の各項目は上昇する、低下する、またはほぼ変わらないのいずれだと思いますか？

金利

かなり/少し上昇する

2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



Q

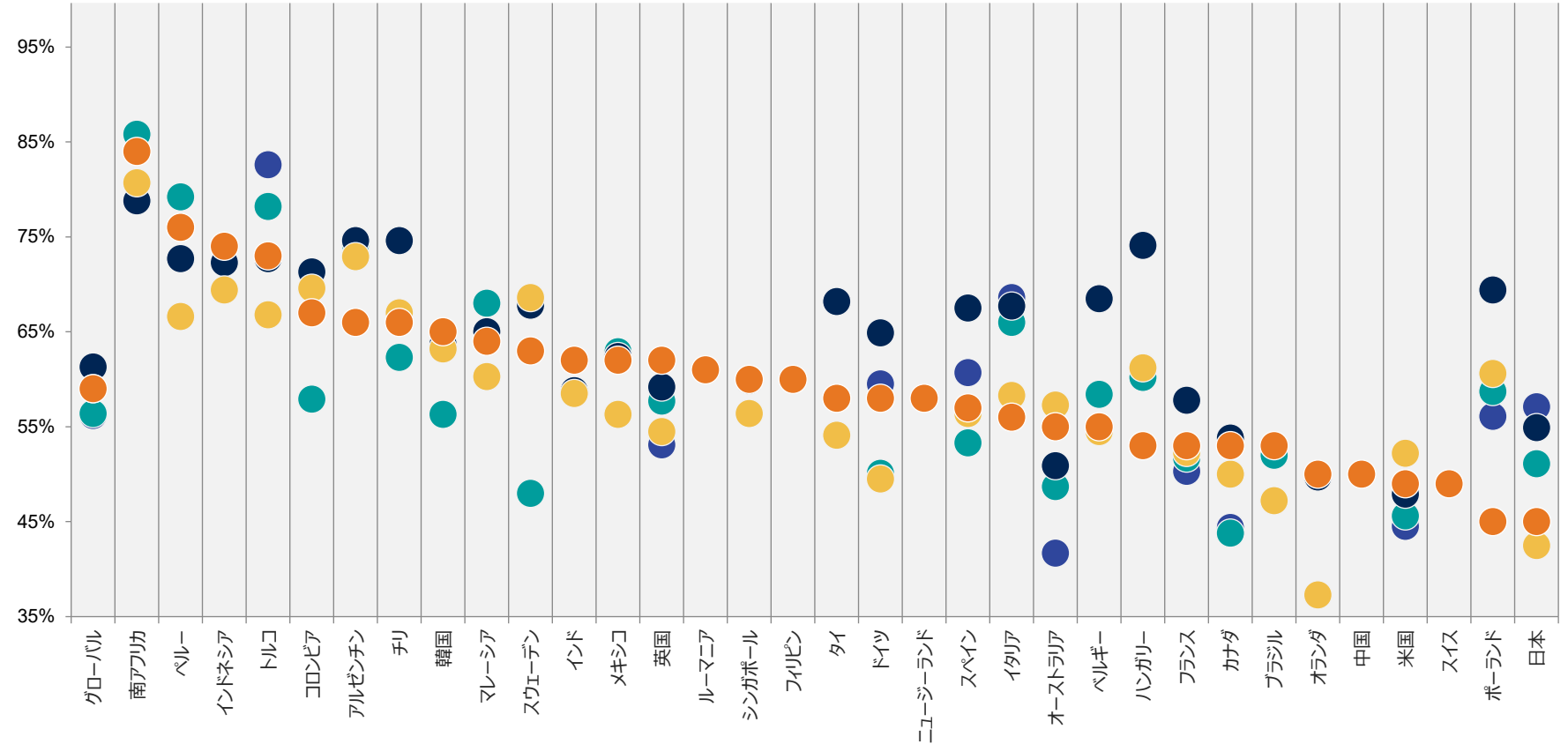
来年中、以下の各項目は上昇する、低下する、またはほぼ変わらないのいずれだと思いますか？

自国の失業者数

かなり/少し上昇する

2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

59% 84% 76% 74% 73% 67% 66% 66% 65% 64% 63% 62% 62% 62% 61% 60% 60% 58% 58% 58% 57% 56% 55% 55% 53% 53% 53% 53% 50% 50% 49% 49% 45% 45%



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



Q

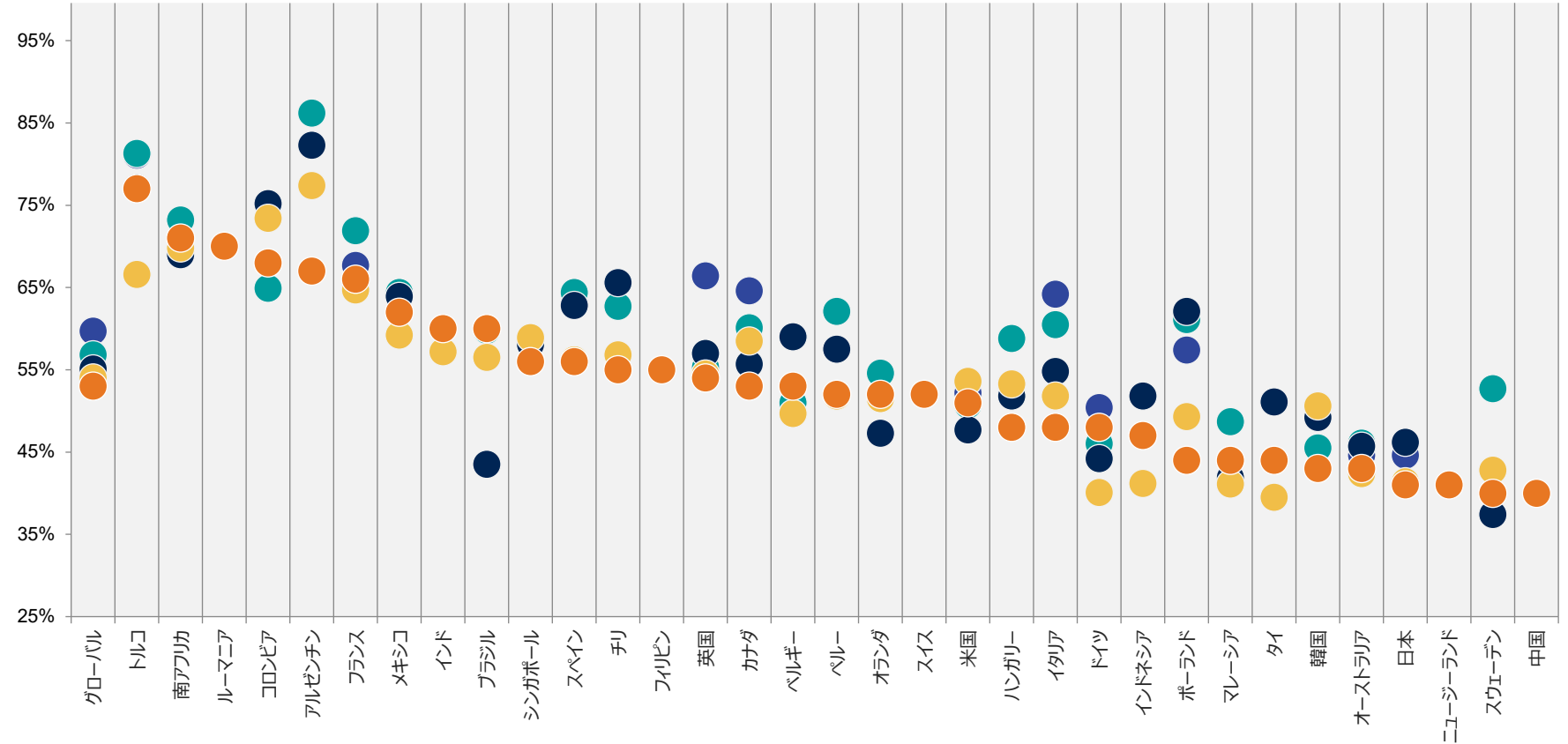
来年中、以下の各項目は上昇する、低下する、またはほぼ変わらないのいずれだと思いますか？

税金支払額

かなり/少し上昇する

2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

53% 77% 71% 70% 68% 67% 66% 62% 60% 60% 56% 56% 55% 55% 54% 53% 53% 52% 52% 52% 51% 48% 48% 48% 47% 44% 44% 44% 43% 43% 41% 41% 40% 40%



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



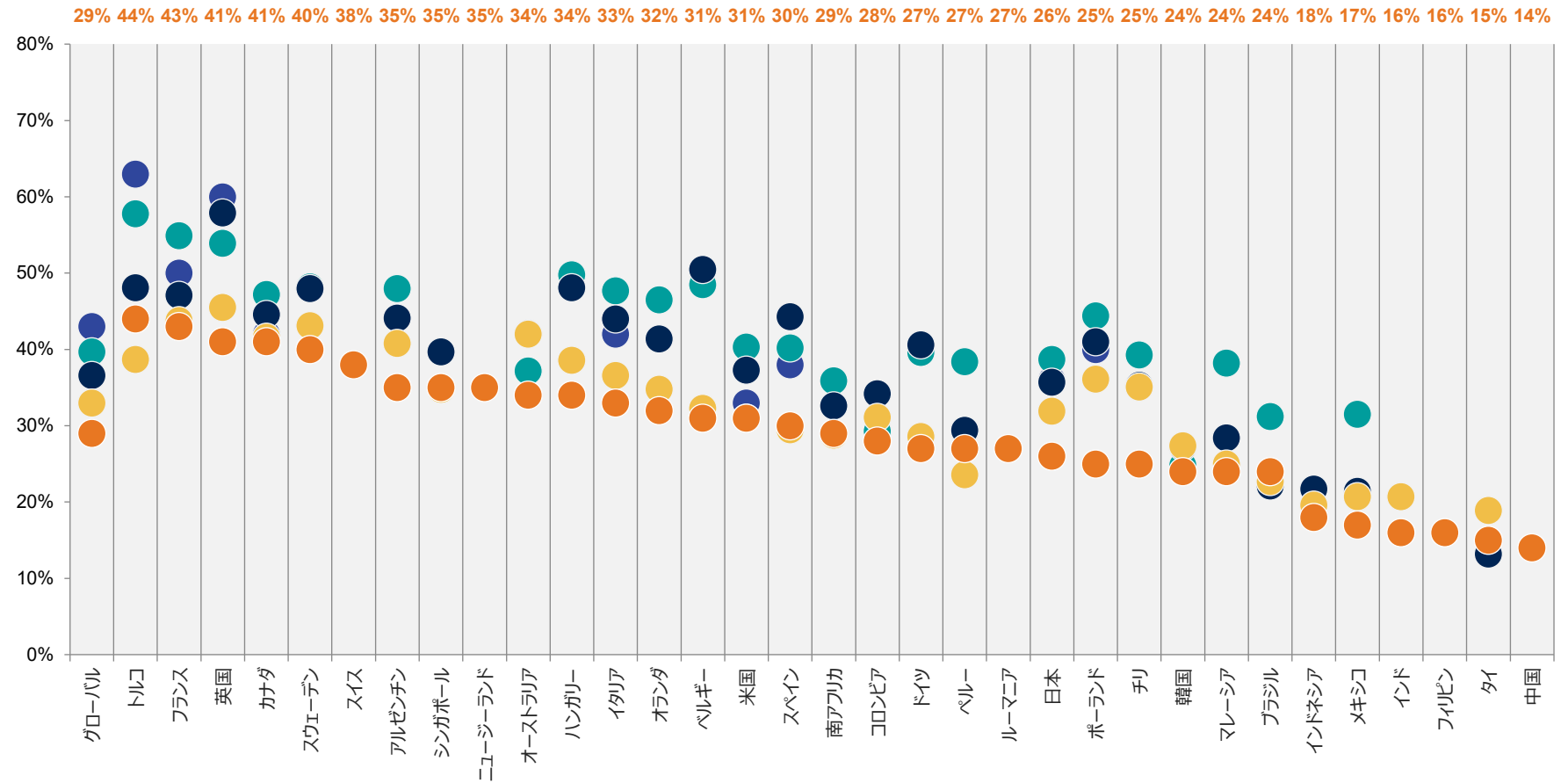
Q

来年中、以下の各項目は上昇する、低下する、またはほぼ変わらないのいずれだと思いますか？

可処分所得（生活費の支払い後に支出可能な額）

かなり/少し**低下**する

2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



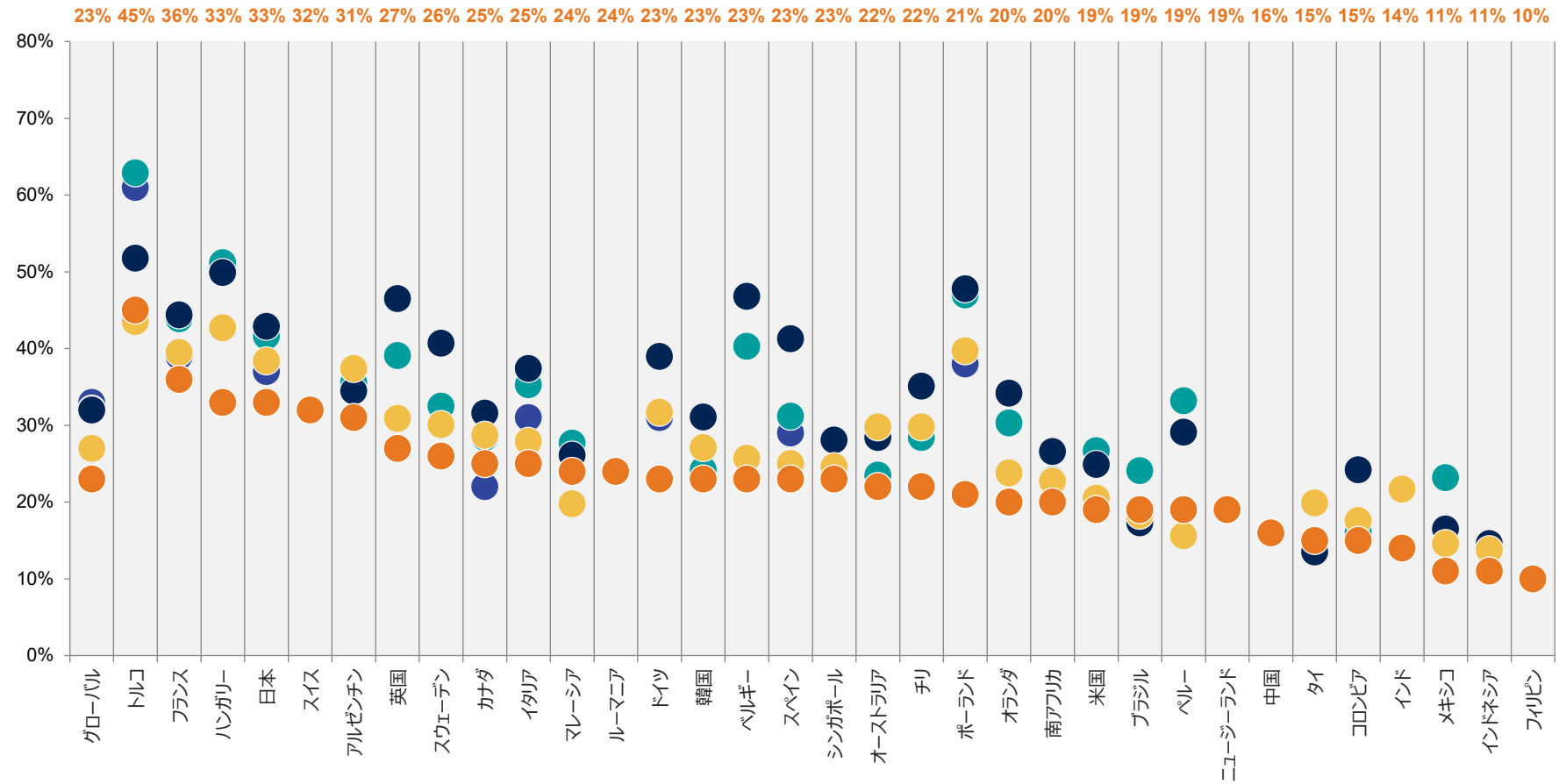
Q

来年中、以下の各項目は上昇する、低下する、またはほぼ変わらないのいずれだと思いますか？

自分の生活水準

かなり/少し**低下**する

2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月



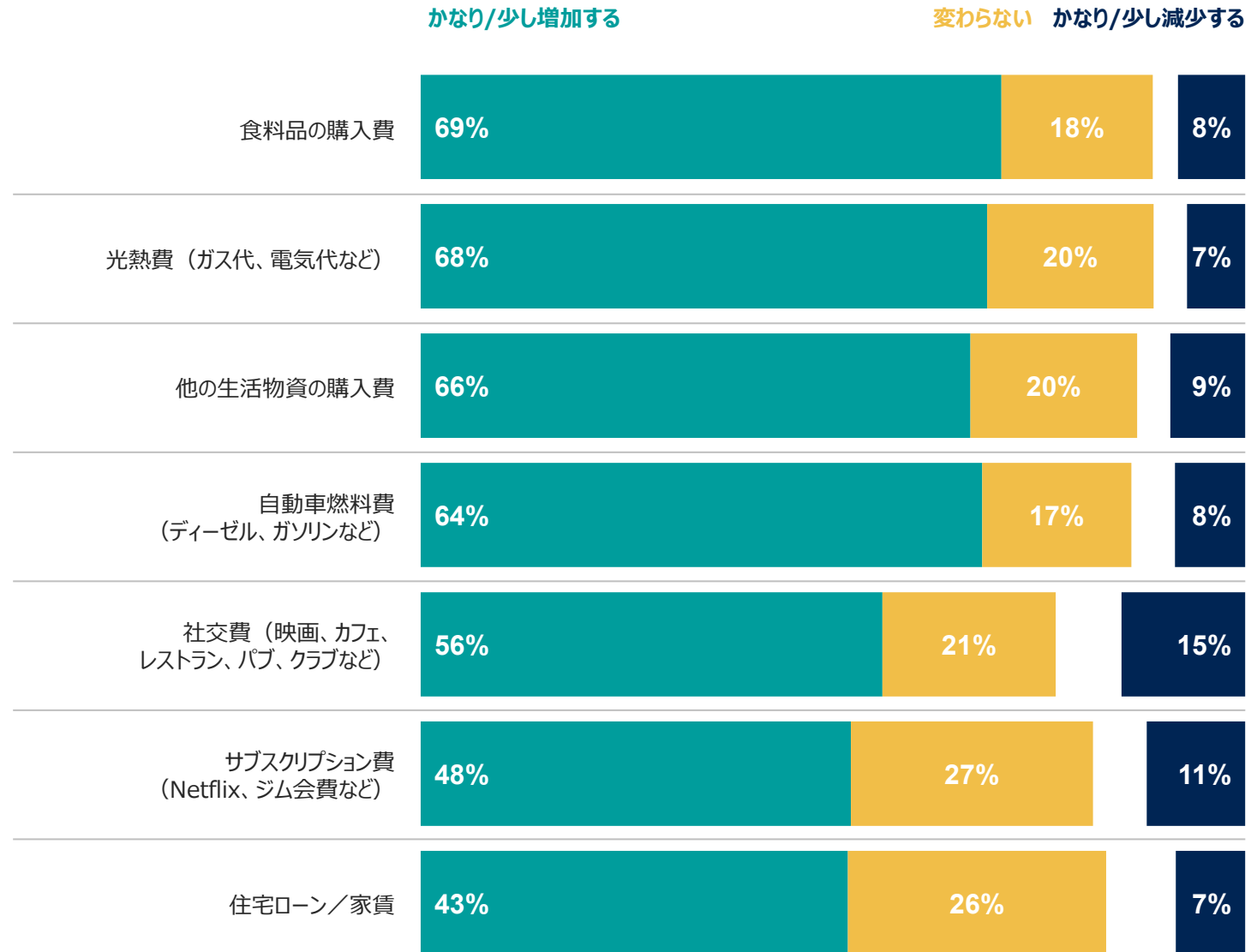
ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



Q

今後6カ月の家計支出について考えてみてください。以下の各支出タイプについて、増加する、減少する、または変わらないのいずれを予想するかをお答えください。

世界各国平均(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

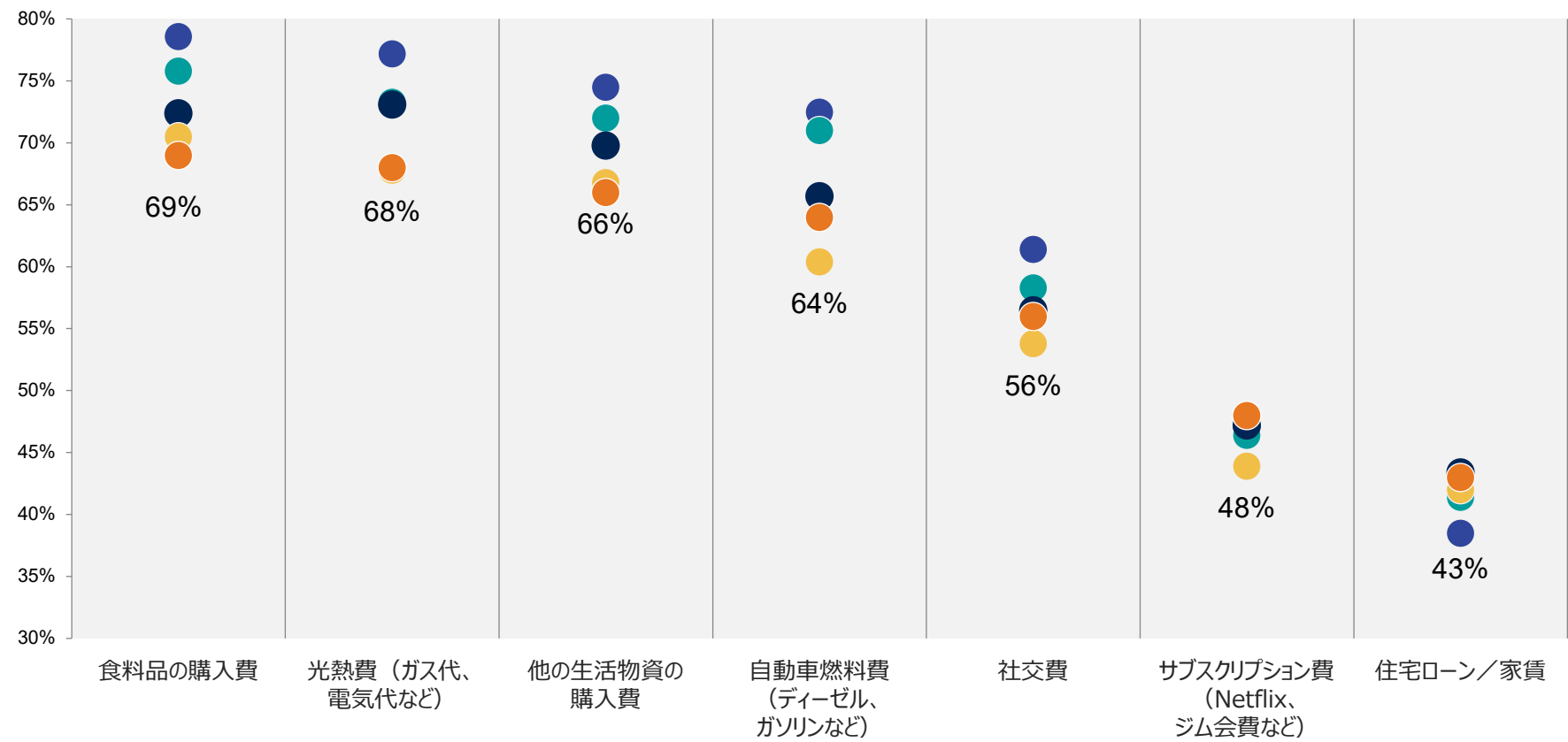


今後6カ月の家計支出について考えてみてください。以下の各支出タイプについて、増加する、減少する、または変わらないのいずれを予想するかをお答えください。

かなり/少し増加する

世界各国平均(%)

2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。





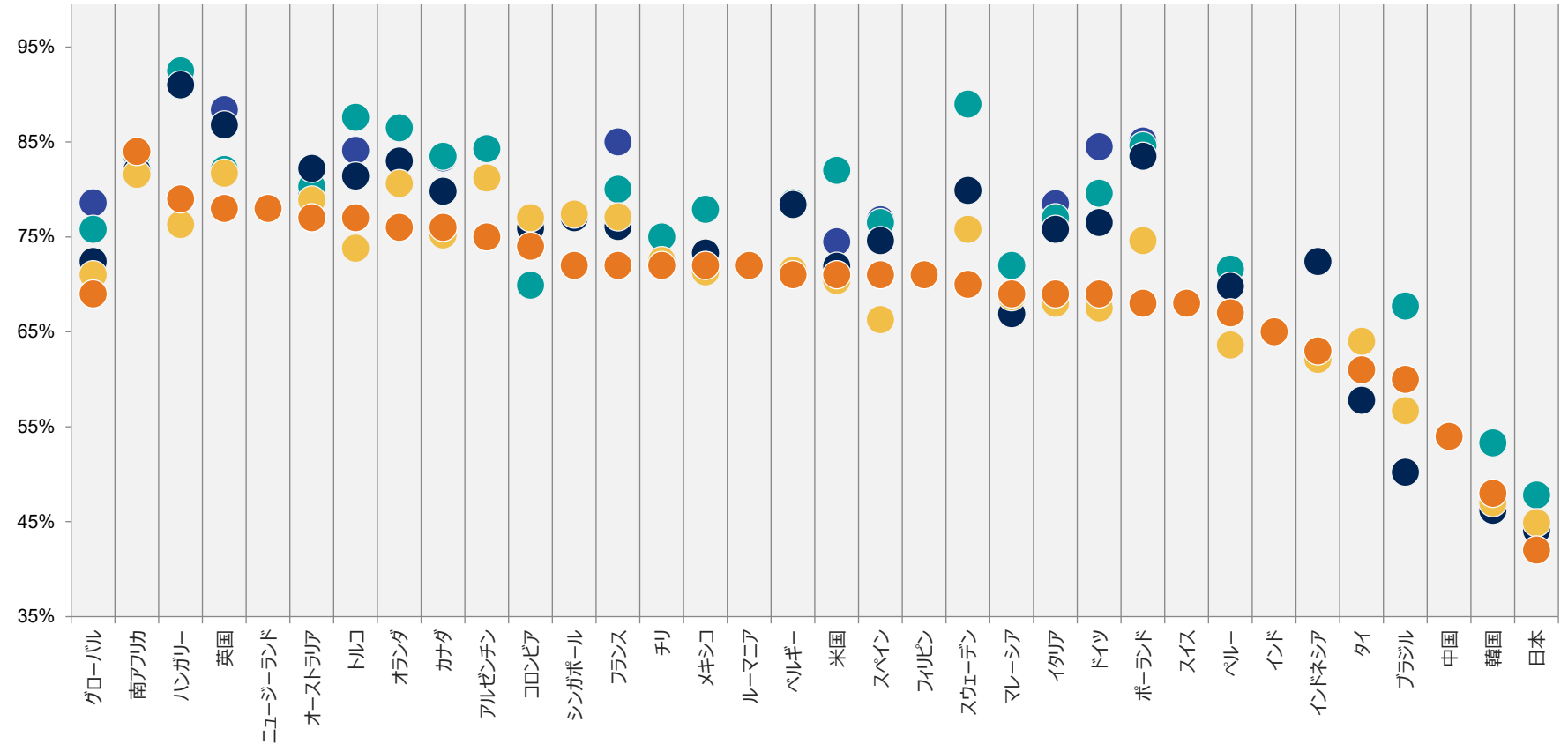
2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

69% 84% 79% 78% 78% 77% 77% 76% 76% 75% 74% 72% 72% 72% 72% 72% 71% 71% 71% 71% 70% 69% 69% 69% 68% 68% 67% 65% 63% 61% 60% 54% 48% 42%

食料品の購入費

今後6ヵ月の家計支出について考えてみてください。以下の各支出タイプについて、増加する、減少する、または変わらないのいずれを予想するかをお答えください。

かなり/少し増加する(%)

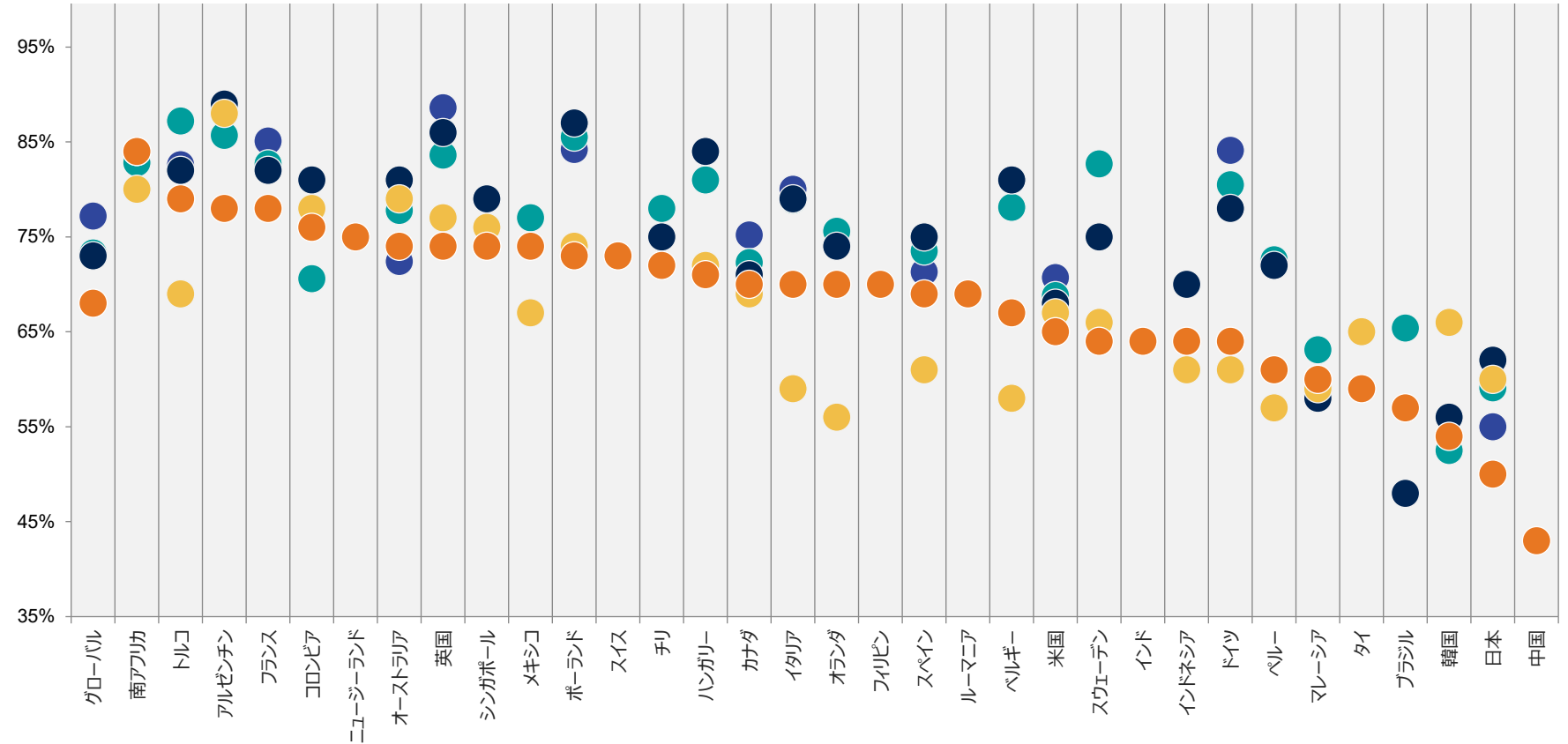


ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

68% 84% 79% 78% 78% 76% 75% 74% 74% 74% 74% 73% 73% 72% 71% 70% 70% 70% 70% 69% 69% 67% 65% 64% 64% 64% 64% 61% 60% 59% 57% 54% 50% 43%



光熱費 (ガス代、電気代など)

今後6ヵ月の家計支出について考えてみてください。以下の各支出タイプについて、増加する、減少する、または変わらないのいずれを予想するかをお答えください。

かなり/少し増加する(%)

ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



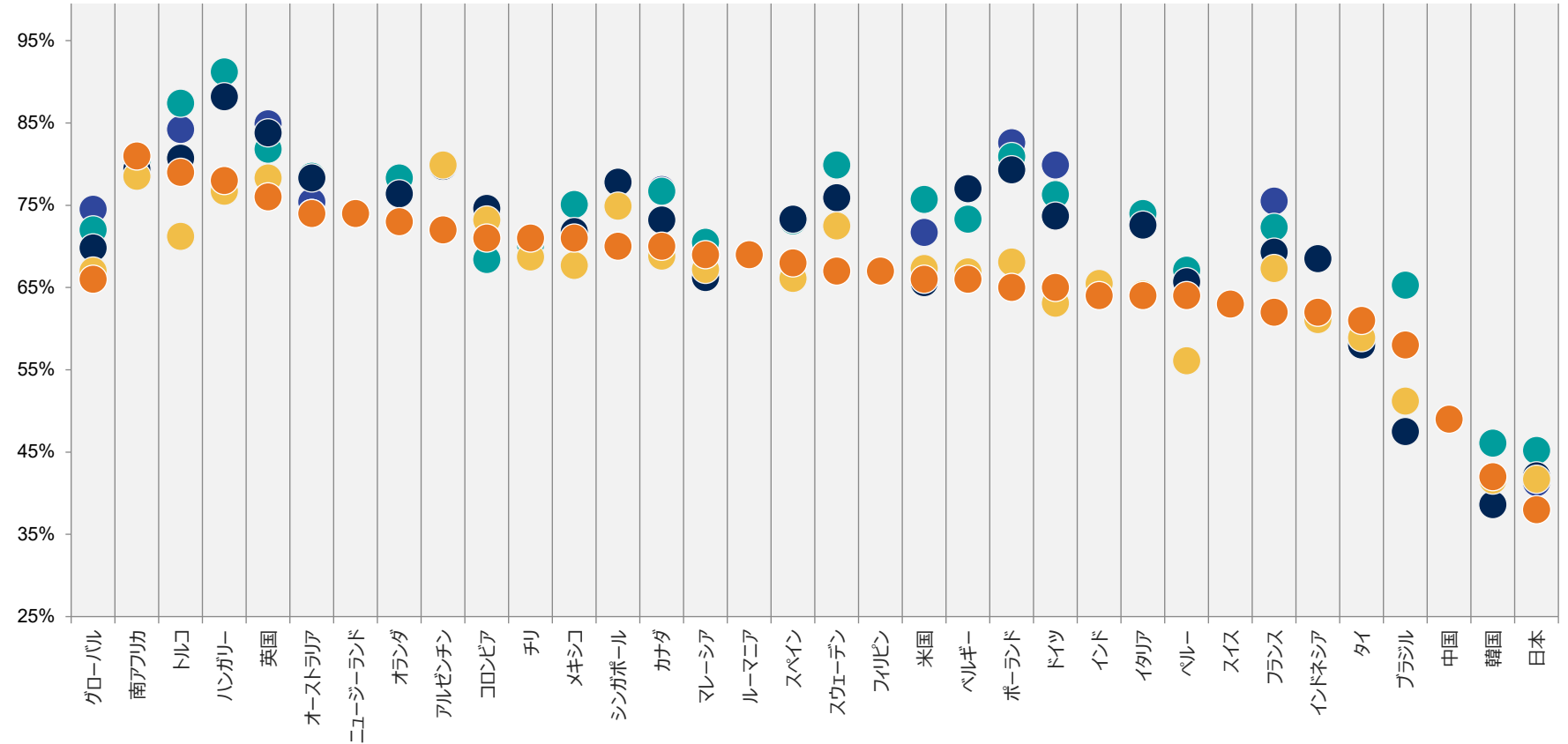
2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

66% 81% 79% 78% 76% 74% 74% 73% 72% 71% 71% 71% 70% 70% 69% 69% 68% 67% 67% 66% 66% 65% 65% 64% 64% 64% 63% 62% 62% 61% 58% 49% 42% 38%

他の生活物資の購入費

今後6ヵ月の家計支出について考えてみてください。以下の各支出タイプについて、増加する、減少する、または変わらないのいずれを予想するかをお答えください。

かなり/少し増加する(%)

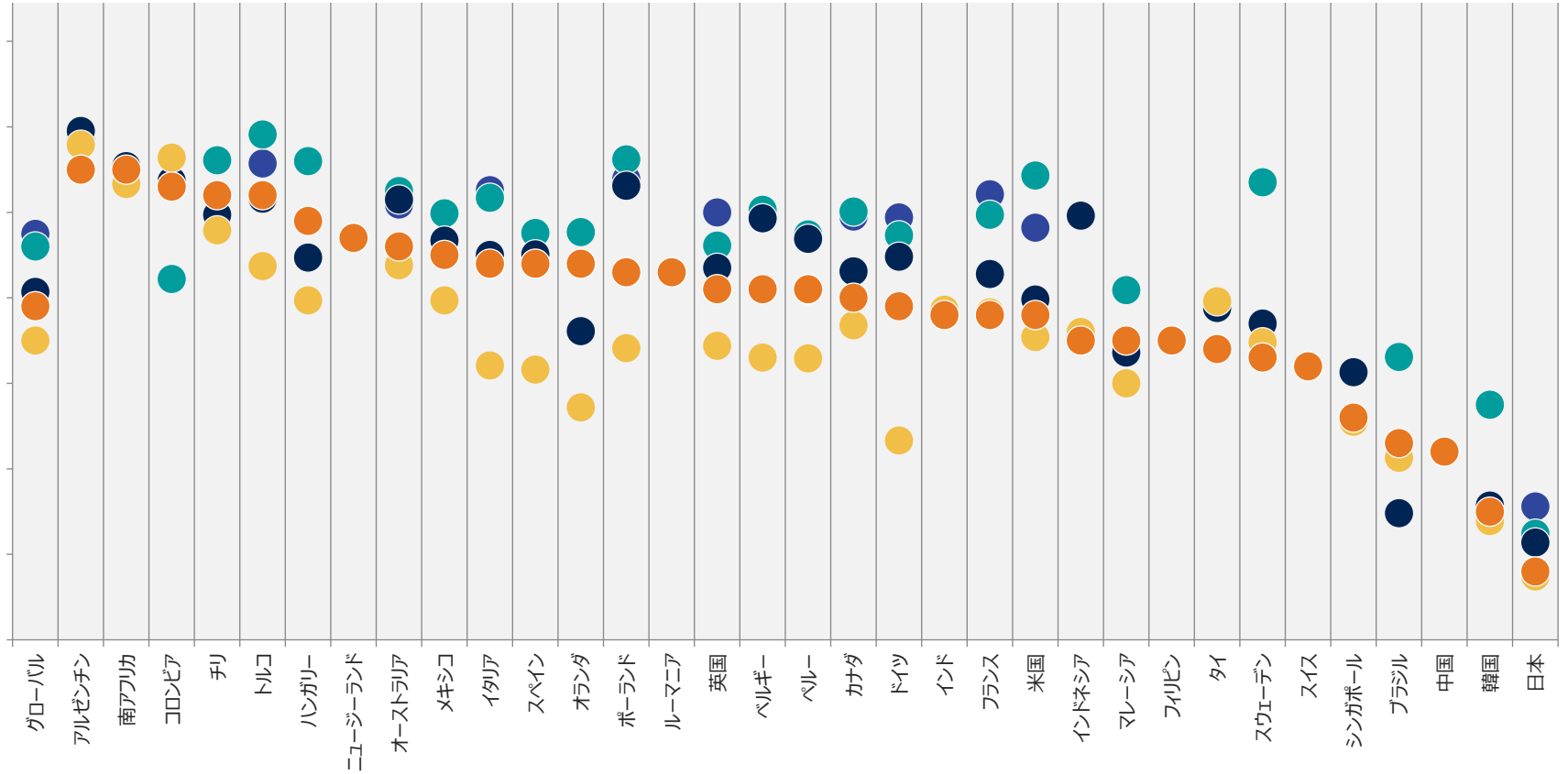


ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

64% 80% 80% 78% 77% 77% 74% 72% 71% 70% 69% 69% 68% 68% 66% 66% 66% 65% 64% 63% 63% 63% 60% 60% 60% 59% 58% 57% 51% 48% 47% 40% 33%



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

自動車燃料費 (ディーゼル、ガソリンなど)

今後6カ月の家計支出について考えてみてください。以下の各支出タイプについて、増加する、減少する、または変わらないのいずれを予想するかをお答えください。

かなり/少し増加する(%)



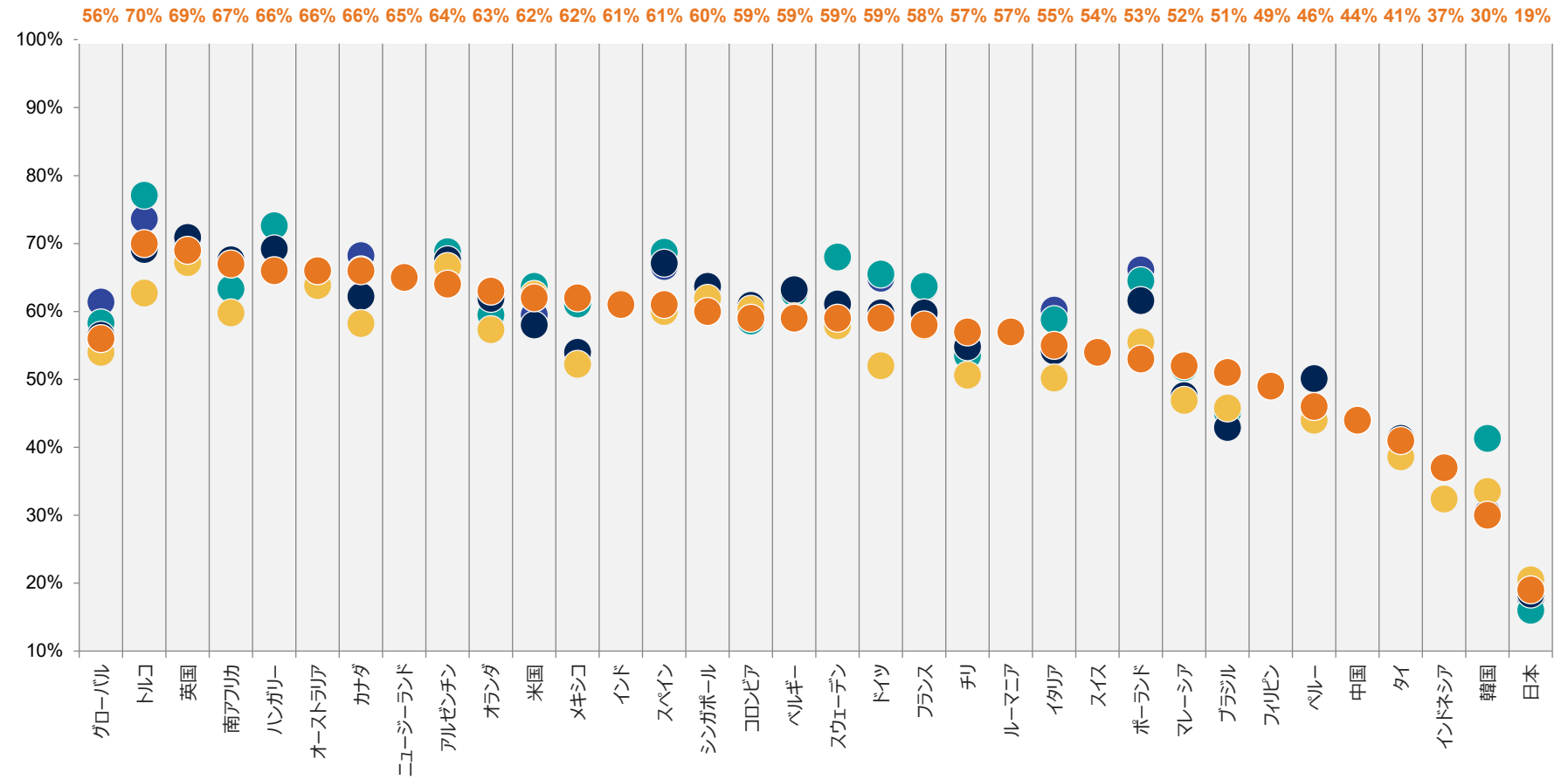
2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

社交費

(映画、カフェ、レストラン、パブ、クラブなど)

今後6ヵ月の家計支出について考えてみてください。以下の各支出タイプについて、増加する、減少する、または変わらないのいずれを予想するかをお答えください。

かなり/少し増加する(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

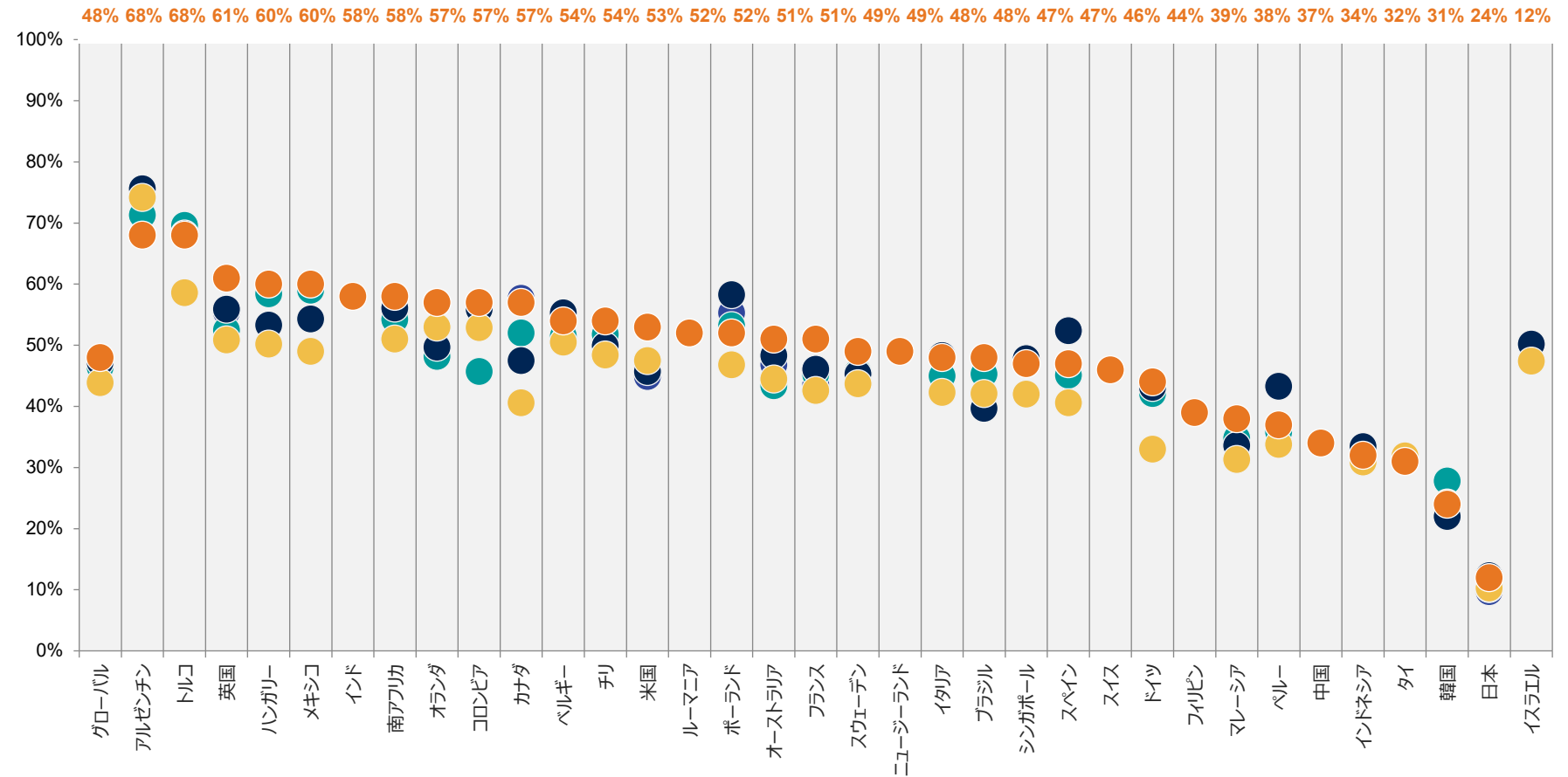


2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

サブスクリプション費 (Netflix、ジム会費など)

今後6カ月の家計支出について考えてみてください。以下の各支出タイプについて、増加する、減少する、または変わらないのいずれを予想するかをお答えください。

かなり/少し増加する(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

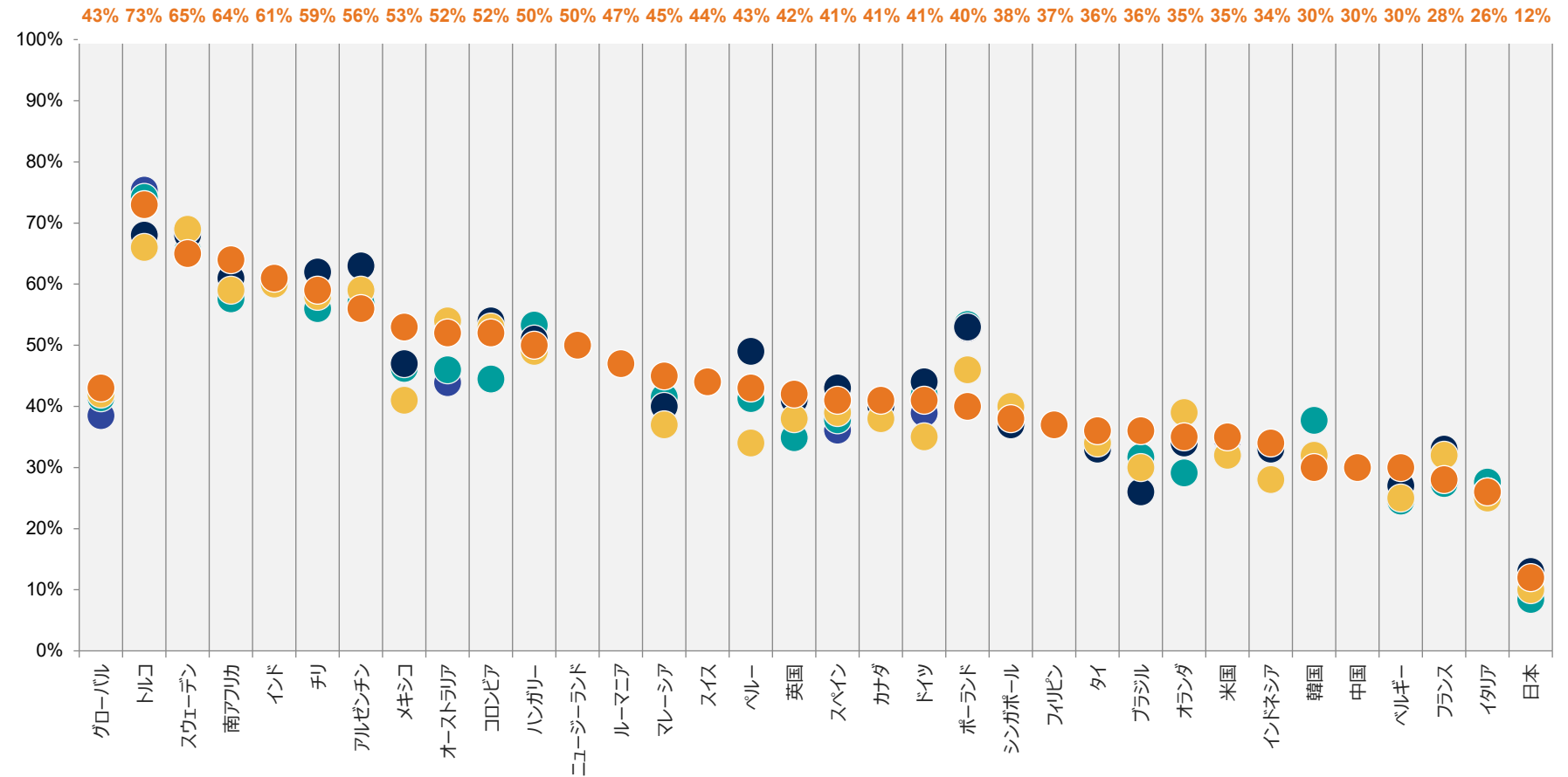


2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

住宅ローン／家賃

今後6カ月の家計支出について考えてみてください。以下の各支出タイプについて、増加する、減少する、または変わらないのいずれを予想するかをお答えください。

かなり/少し増加する(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

なぜ価格が 上昇しているのか？

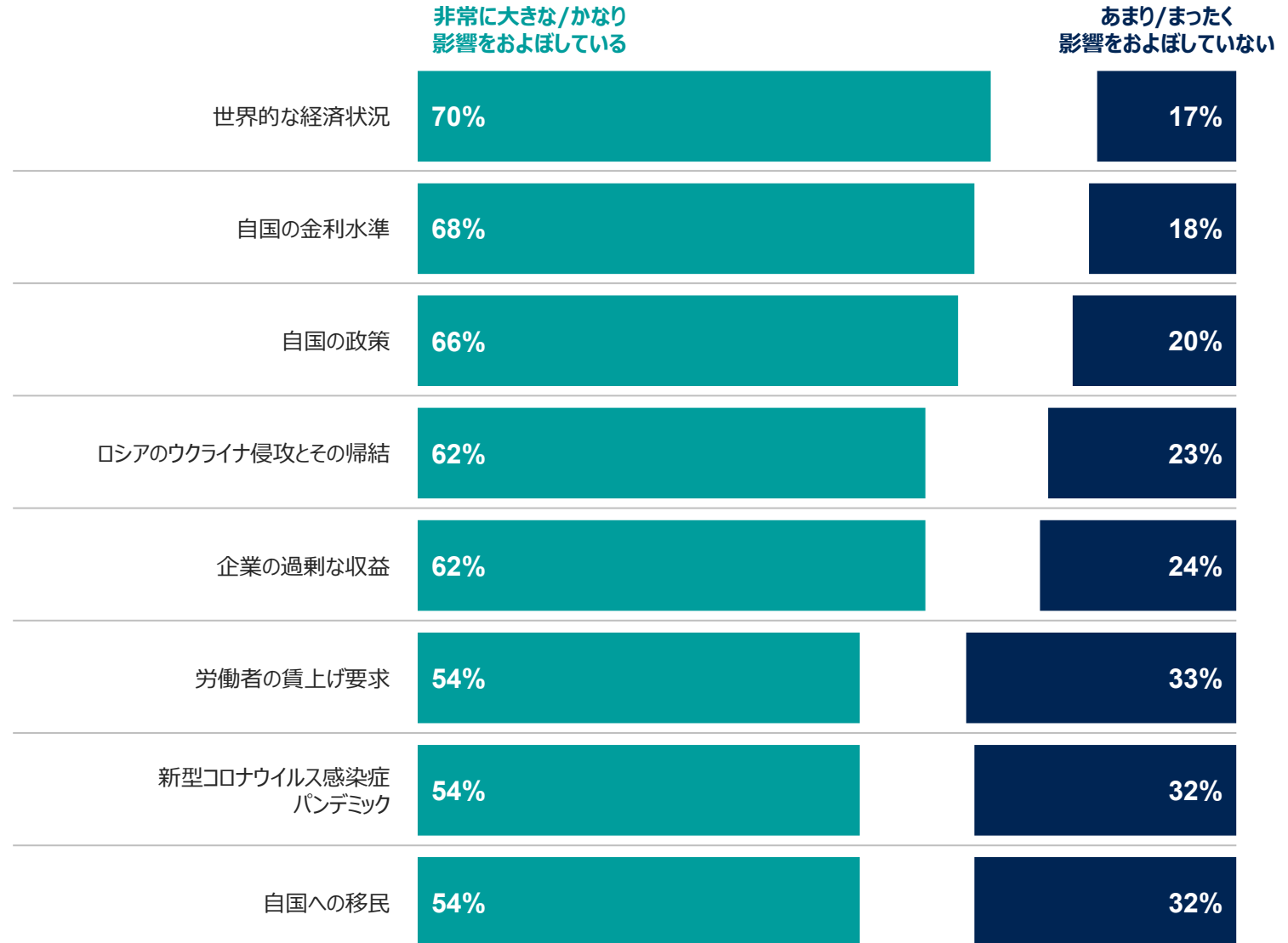




Q

以下の各項目が、現在自国の生活費上昇にどれほど影響をおよぼしていると思いますか？

世界各国平均(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

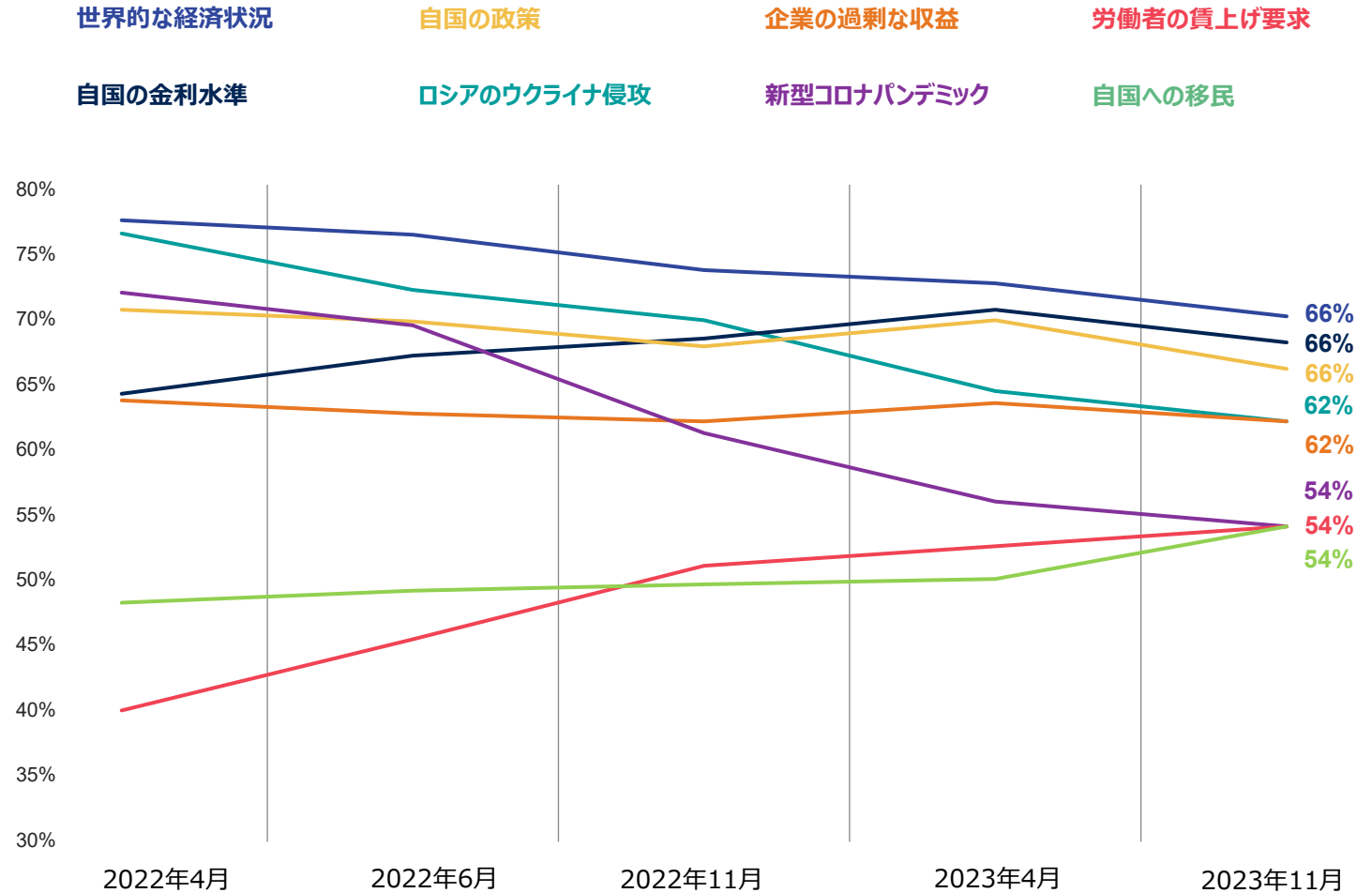


Q

以下の各項目が、現在自国の生活費上昇にどれほど影響をおよぼしていると思いますか？

非常に大きな影響をおよぼしている/
かなり影響をおよぼしている

世界各国平均(%)



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



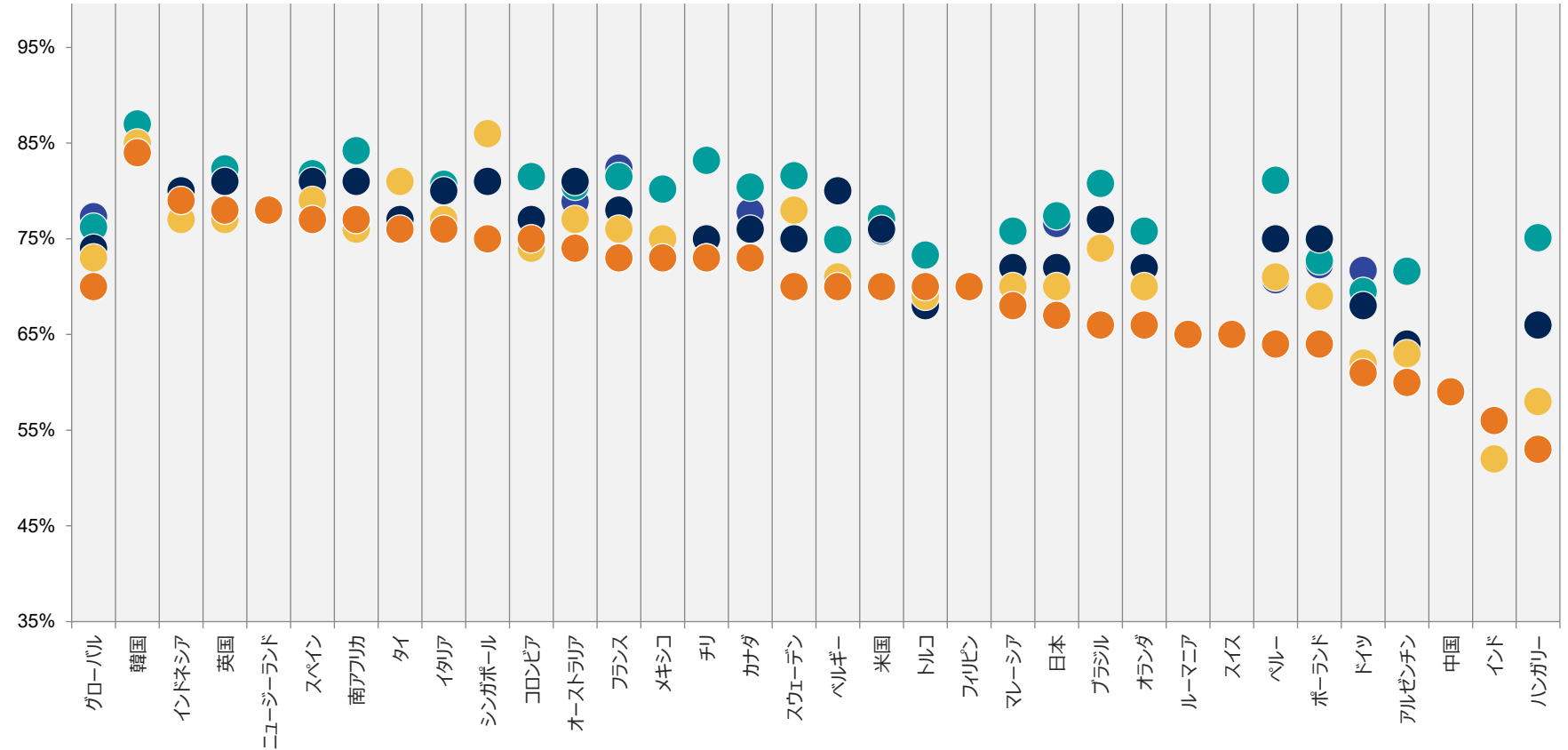
2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

70% 84% 79% 78% 78% 77% 77% 76% 76% 75% 75% 74% 73% 73% 73% 73% 70% 70% 70% 70% 70% 70% 68% 67% 66% 66% 65% 65% 64% 64% 61% 60% 59% 56% 53%

世界的な経済状況

以下の各項目が、現在自国の生活費上昇にどれほど影響をおよぼしていると思いますか？

非常に大きな影響をおよぼしている/
かなり影響をおよぼしている

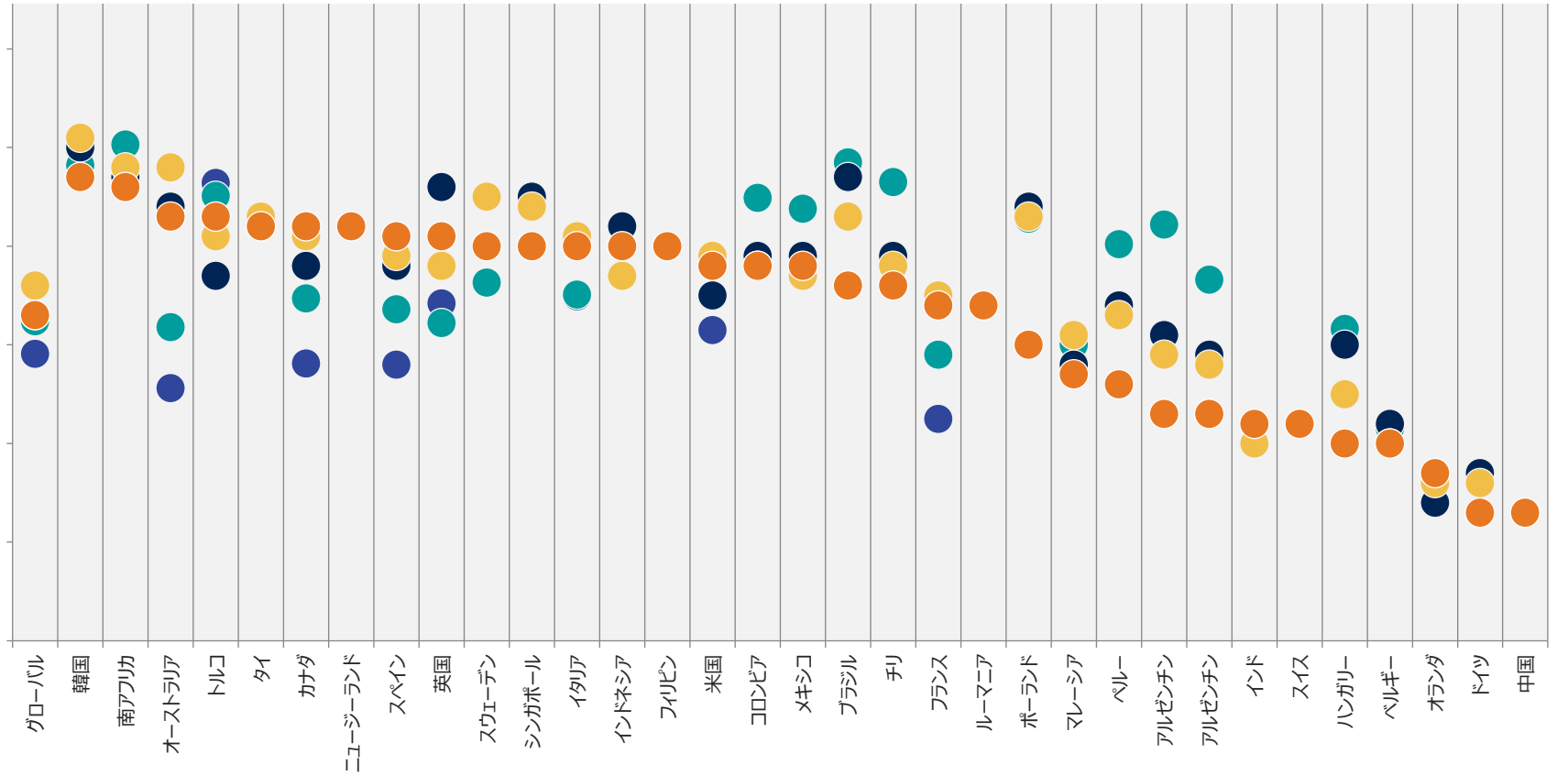


ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

70% 84% 79% 78% 78% 77% 77% 76% 76% 75% 75% 74% 73% 73% 73% 73% 70% 70% 70% 70% 70% 68% 67% 66% 66% 65% 65% 64% 64% 61% 60% 59% 56% 53%



自国の金利水準

以下の各項目が、現在自国の生活費上昇にどれほど影響をおよぼしていると思いますか？

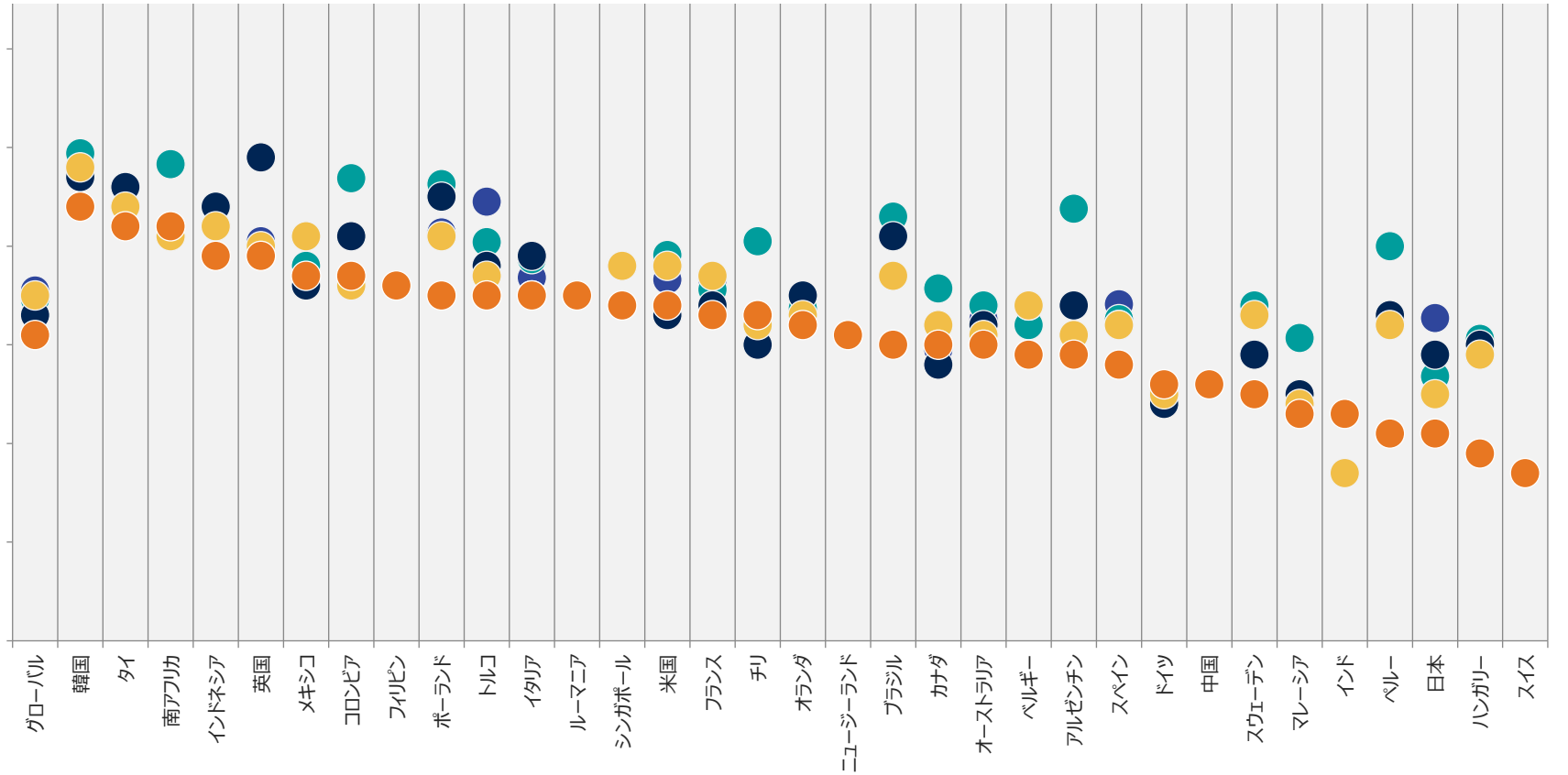
非常に大きな影響をおよぼしている/
かなり影響をおよぼしている

ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

66% 79% 77% 77% 74% 74% 72% 72% 71% 70% 70% 70% 70% 69% 69% 68% 68% 67% 66% 65% 65% 65% 64% 64% 63% 61% 61% 60% 58% 58% 56% 56% 54% 52%



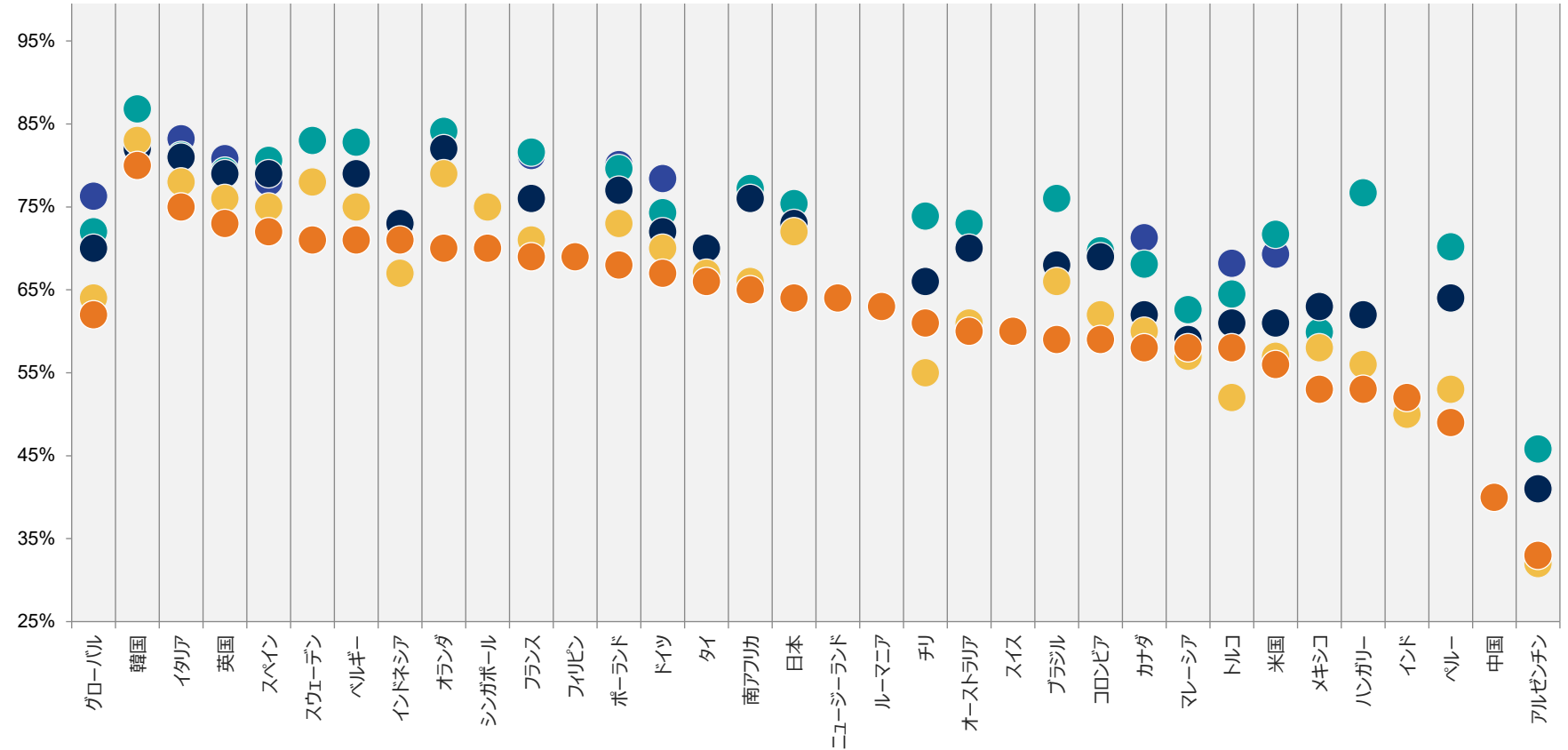
ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。





2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

62% 84% 75% 73% 72% 71% 71% 71% 70% 70% 69% 69% 68% 67% 66% 65% 64% 64% 63% 61% 60% 60% 59% 59% 58% 58% 58% 56% 53% 53% 52% 49% 40% 33%



ロシアのウクライナ侵攻とその帰結

以下の各項目が、現在自国の生活費上昇にどれほど影響をおよぼしていると思いますか？

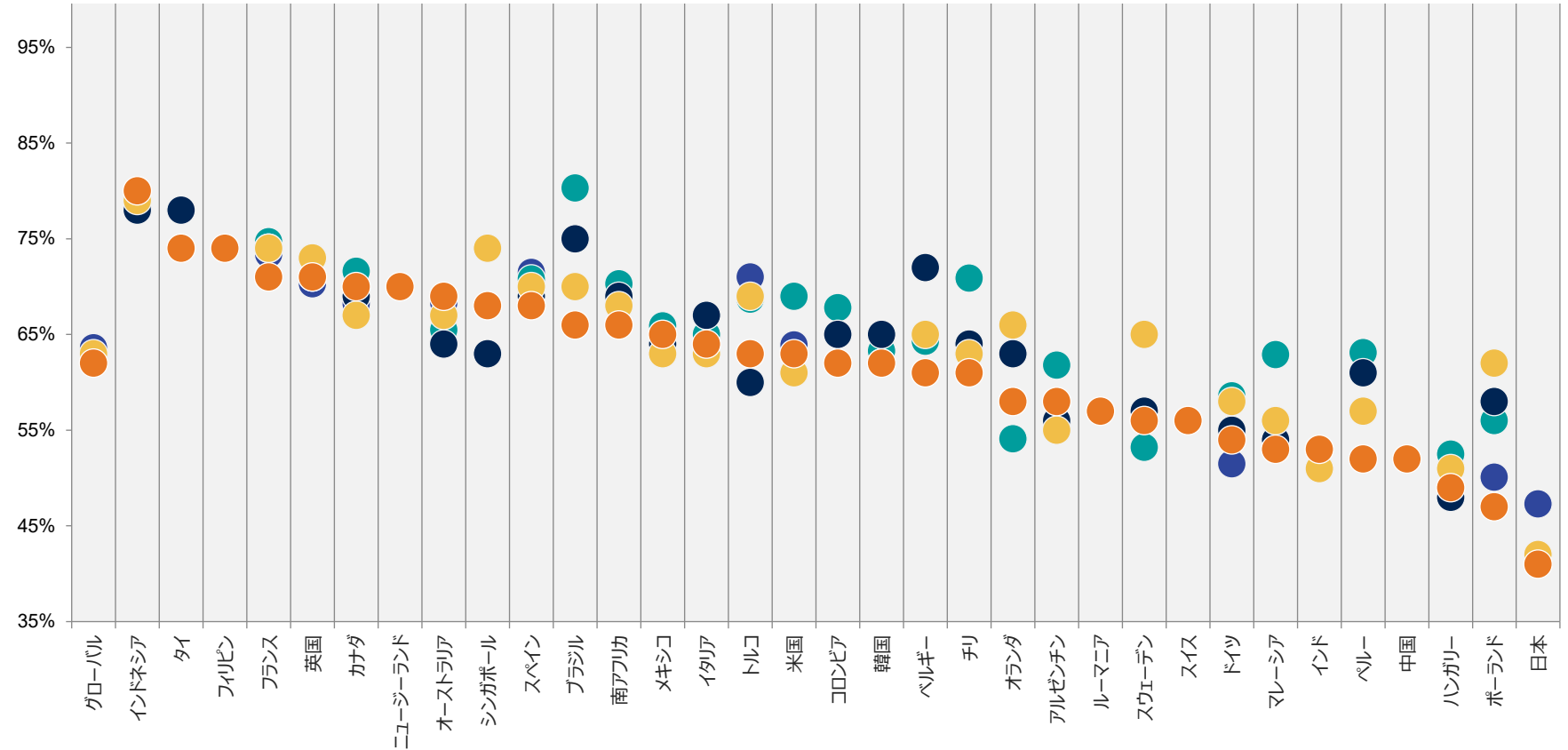
非常に大きな影響をおよぼしている/
かなり影響をおよぼしている

ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

62% 80% 74% 74% 71% 71% 70% 70% 69% 68% 68% 66% 66% 65% 64% 63% 63% 62% 62% 61% 61% 58% 58% 57% 56% 56% 54% 53% 53% 52% 52% 49% 47% 41%



企業の過剰な収益

以下の各項目が、現在自国の生活費上昇にどれほど影響をおよぼしていると思いますか？

非常に大きな影響をおよぼしている/
かなり影響をおよぼしている

ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



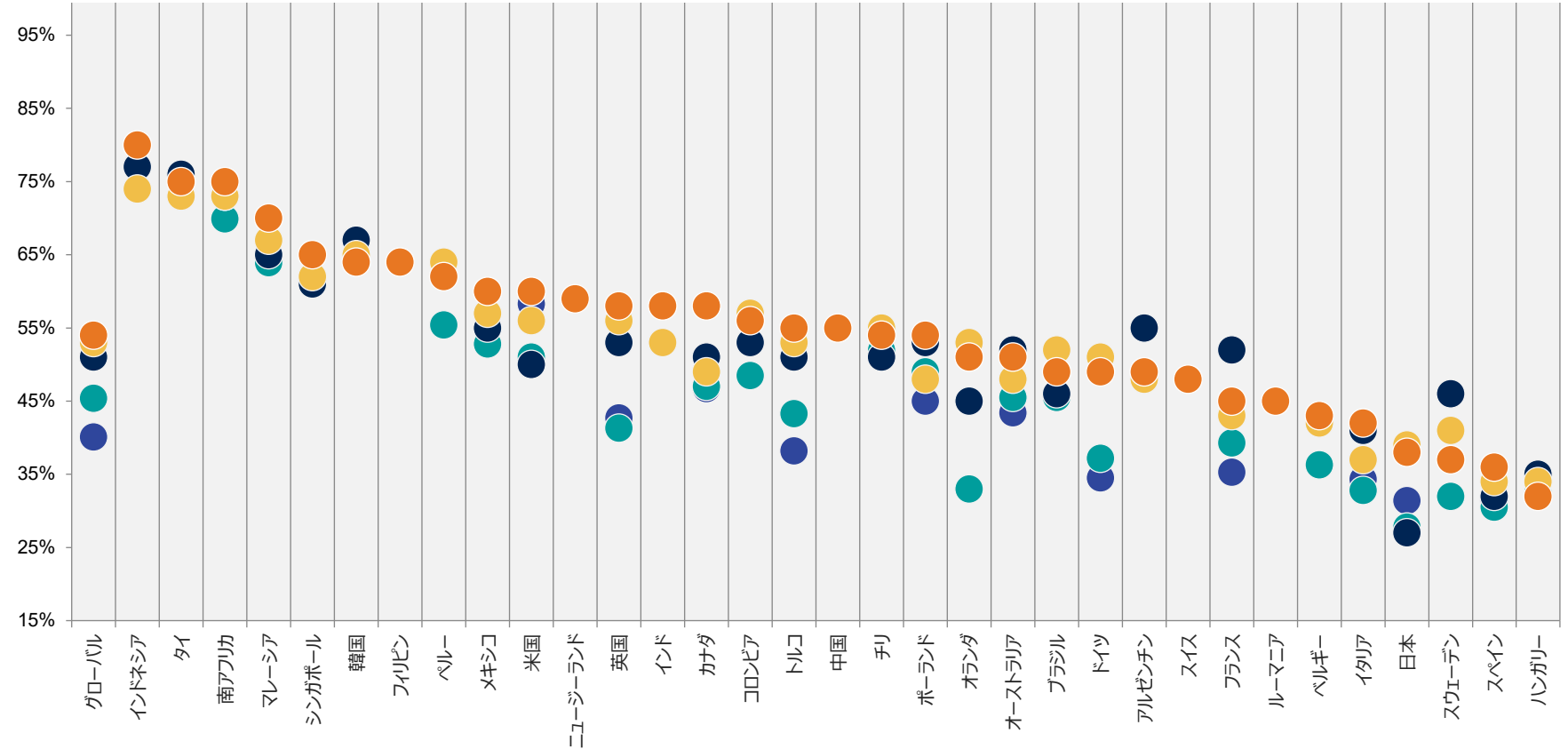
2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

54% 80% 75% 75% 70% 65% 64% 64% 62% 60% 60% 59% 58% 58% 58% 56% 55% 55% 54% 54% 51% 51% 49% 49% 49% 48% 45% 45% 43% 42% 38% 37% 36% 32%

労働者の賃上げ要求

以下の各項目が、現在自国の生活費上昇にどれほど影響をおよぼしていると思いますか？

非常に大きな影響をおよぼしている/
かなり影響をおよぼしている

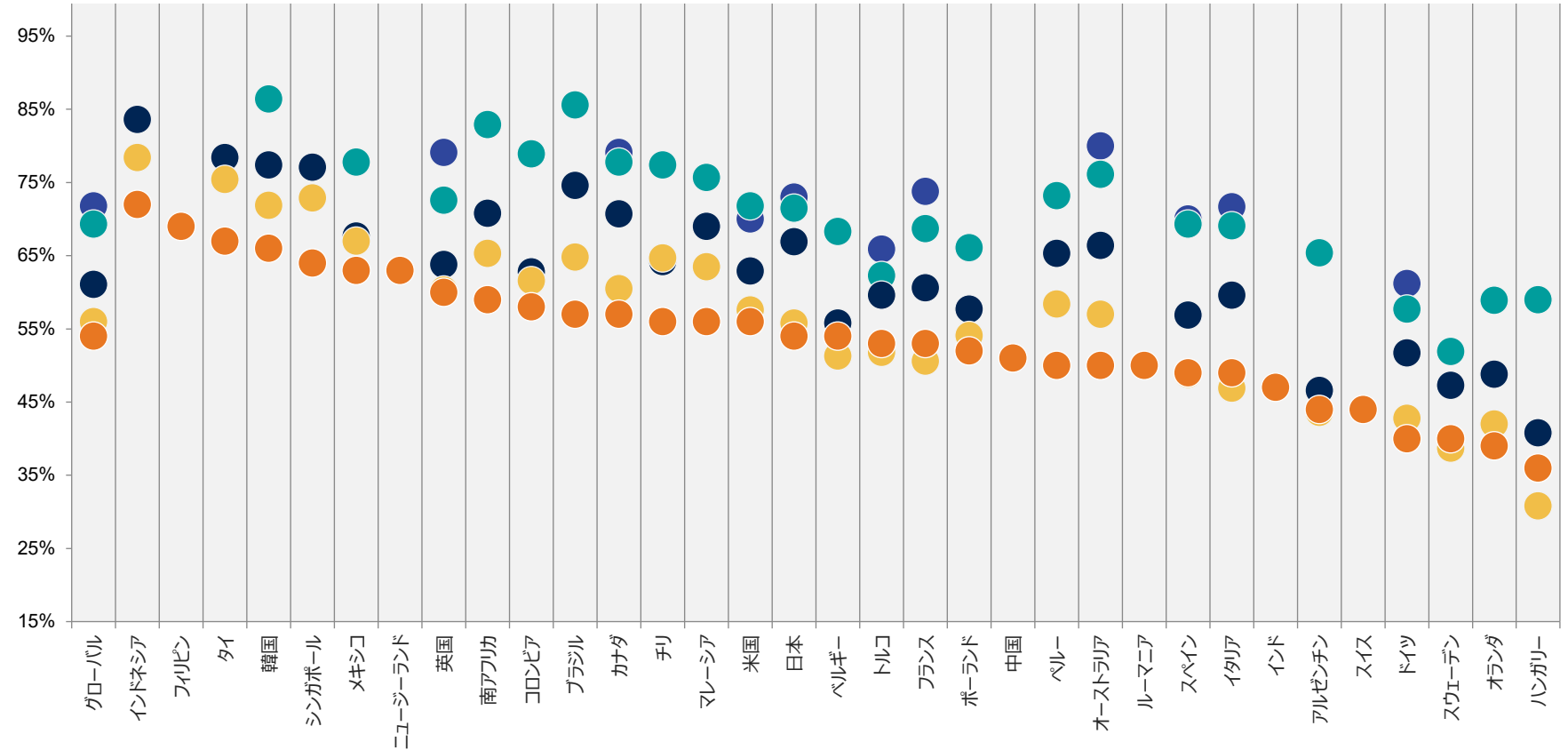


ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

54% 72% 69% 67% 66% 64% 63% 63% 60% 59% 58% 57% 57% 56% 56% 54% 54% 53% 53% 52% 51% 50% 50% 50% 49% 49% 47% 44% 44% 40% 40% 39% 36%



新型コロナウイルス感染症 パンデミック

以下の各項目が、現在自国の生活
費上昇にどれほど影響をおよぼして
いると思いますか？

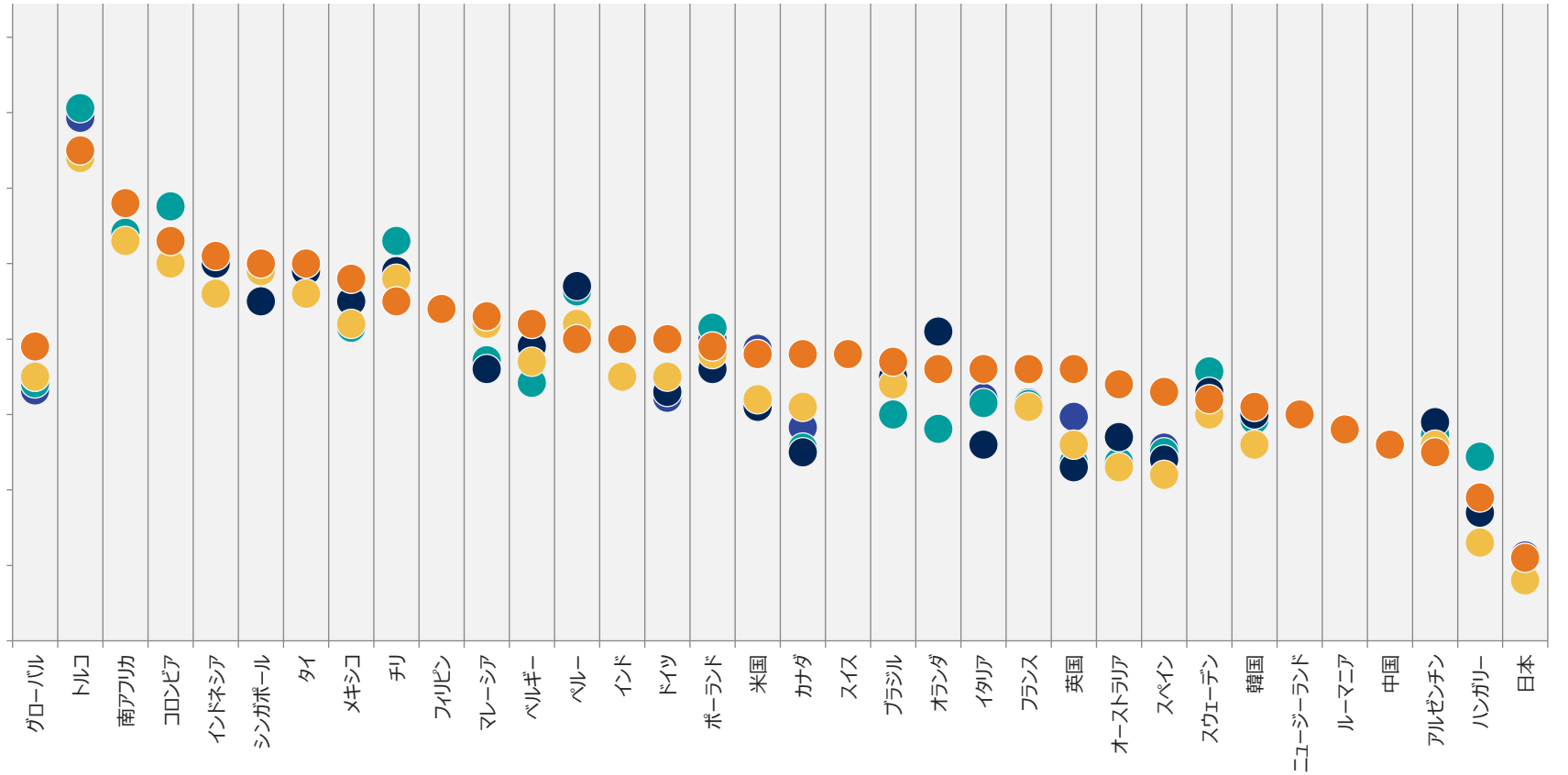
非常に大きな影響をおよぼしている/
かなり影響をおよぼしている

ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。



2022年4月 2022年6月 2022年11月 2023年4月 2023年11月

54% 80% 73% 68% 66% 65% 65% 63% 60% 59% 58% 57% 55% 55% 55% 54% 53% 53% 53% 52% 52% 51% 50% 50% 50% 49% 49% 47% 44% 44% 40% 40% 39% 36%



ベース：世界33カ国の75歳未満の成人24,792人（2023年10月20日～11月3日実施のオンライン調査）。「世界各国平均（グローバル）」は、調査を実施したすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。

自国への移民

以下の各項目が、現在自国の生活費上昇にどれほど影響をおよぼしていると思いますか？

非常に大きな影響をおよぼしている/
かなり影響をおよぼしている

調査手法





調査手法

このレポートは、イプソスが2023年10月20日（金）から11月3日（金）にかけて、33カ国のオンラインプラットフォーム「Global Advisor」と、インドではプラットフォーム「IndiaBus」で実施した調査結果である。

この調査では、インドの18歳以上、カナダ、マレーシア、ニュージーランド、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、タイの20～74歳、インドネシアとシンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の成人計24,792人に調査を行った。

サンプル数は、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、英国、イタリア、日本、ニュージーランド、フィリピン、スペイン、米国の各約1,000人、アルゼンチン、ベルギー、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、韓国、スウェーデン、スイス、タイ、トルコの各約500人となっている。インドのサンプル数は約2,200人で、そのうち約1,800人が対面調査、約400人がオンライン調査を受けている。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、ルーマニア、韓国、スペイン、スウェーデン、スイス、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般成人人口を代表しているとみなすことができる。ブラジル、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都会に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの国の調査結果は、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると見るべきだろう。

インドのサンプルは、社会経済クラスA、B、Cと、国内の4つのゾーンにまたがる都市階級ティア1～3という、都市人口の大きなサブセットを代表している。

データは、各国のサンプル構成が最新の国勢調査データによる成人人口の人口動態を最もよく反映するように重み付けされている。

「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国・市場の平均値を反映している。各国・各市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。

パーセンテージの合計が100にならない場合、または「差」が実際の計算結果よりも±1%ポイント程度大きくまたは小さく見える場合は、四捨五入、複数回答、「わからない」または未回答が除外されている可能性がある。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、1,000人の世論調査の精度を±3.5%ポイント、500人場合は±5.0%ポイントの信頼区間を用いて計算されている。イプソスを使用する信頼区間に関する詳細は、イプソスのウェブサイトを参照のこと。

本調査結果の公表は現地の規則に従う。

イプソスについて

イプソスは世界第3位の市場調査会社であり、90カ国に拠点を持ち、18,000人以上の従業員を擁しています。

当社のリサーチ・プロフェッショナル、アナリスト、科学者は、市民、消費者、患者、顧客、従業員の行動、意見、動機に関する強力な洞察を提供する独自のマルチスペシャリスト能力を構築しています。私たちは、75のビジネスソリューションで世界中の5000社以上のクライアントにサービスを提供しています。

1975年にフランスで設立されたイプソスは、1999年7月1日からユーロネクスト・パリに上場しております。当社はSBF120およびMid-60インデックスに属しており、Deferred Settlement Service (SRD) の対象です。

ISIN code FR0000073298, Reuters ISOS.PA, Bloomberg IPS:FP
www.ipsos.com

GAME CHANGERS

変化の激しいこの世界では、確信に満ちた決断を下すために信頼できる情報がますます必要となっています。

イプソスでは、クライアントのみなさまが必要としているのはデータサプライヤー以上のものであり、正確で関連性の高い情報を作成し、実行可能な真実へと変えることのできるパートナーであると考えています。

だからこそ、私たちの好奇心旺盛な専門家たちは、最も正確な測定を提供するだけでなく、それを形にして、社会、国家、そして人々に対する真の理解を提供しています。

これを実現するために、私たちは科学、技術、ノウハウの粋を集め、安全性、簡索性、迅速性、実質性の原則をすべての行動に適用しています。

クライアントのみなさまがより速く、より賢く、より大胆に行動できるように。

結局のところ、成功はこの単純な真実に帰結します。

You act better when you are sure.

確信があれば、より良い行動ができる。

私たちのタグラインである『**Game Changers**』は、深く変化しているこの世界を、クライアントのみなさまがより容易に航行できるようお手伝いしたいという私たちの野心を要約したものです。

**BE
SURE.
ACT
SMARTER.**

GAME CHANGERS

